

めむろ未来学

2／3 年次経過報告

「次代に輝く 芽室の人」を育む



長いも掘り体験



食に関する指導



まるかじりプロジェクト



地域学習

芽室町教育研究所

目 次

I	はじめに（めむろ未来学とは）	I
II	めむろ未来学3力年計画	II
III	めむろ未来学全体構造	III
IV	各エリア全体計画・単元計画	IV
1	全体計画 芽室小・芽室中編	IV-1
	単元計画 「芽室遺産を調べよう」	IV-1-2
	「芽室PR大作戦」	IV-1-4
	「夢育 地元の高校を体験する」	IV-1-6
2	全体計画 芽室南小・芽室中編	IV-2
	単元計画 「めむろまるごと農園活動」	IV-2-2
	「まちじまん 大作戦！」	IV-2-4
	「夢育 地元の高校を体験する」	IV-2-5
3	全体計画 上美生小・上美生中編	IV-3
	単元計画 「わたしたちのふるさと芽室町」	IV-3-2
	「地域とのかかわり」	IV-3-3
	「人はなぜはたらくのか」	IV-3-4
	「芽室町の農業を知る」	IV-3-6
4	全体計画 芽室西小・芽室西中編	IV-4
	単元計画 「おとしよりとふれあおう」	IV-4-2
	「芋掘り体験を通して芽室の 農業を学ぼう」	IV-4-4
V	食農教育	V-1
VI	まちの資源「ひと」「もの」「こと」	VI-1

I はじめに

秀麗な日高山脈を背に十勝平野の中央で大自然の懷に抱かれたまち、めむろ。基幹産業である農業は道内有数の生産量を誇り、豊富な地場資源を活用した食料品製造業や関連産業とともに栄えてきました。

しかしながら今後は、出生率の低下や家族構成の変化による人口減が見込まれ、人々の生活様式や産業形態も大きく変化すると予想されています。

我がまちめむろを、持続可能なまちとしてつなぐ人材を育てるために、『心豊かで「次代に輝く芽室の人」を地域全体で育む』教育大綱の基本理念のもと、「みんなで創り みんなでつなぐ ずっと輝くまち めむろ」の創り手となる児童生徒を育む学びとして、めむろ未来学をすすめるものです。

～めむろ未来学とは～

ふるさとめむろの未来を拓く人を育む 探究・提案・発信型の学びを
町内の全小・中学校で取り組むための教育課程及び学びのスタイル

- ・探究＝ものごとを深く掘り下げながら課題を追究する
- ・提案＝追究した新たなアイディアを相互に交わしまとめる
- ・発信＝持続可能なまちのため内外の様々な方々に向けて発する

～めむろ未来学が目指す子どもの姿～

めむろの魅力を探究し 提案や発信していく活動を通して
ふるさとに愛着と誇りをもち 未来を創ることのできる児童・生徒

学校と地域が協働し、様々な教育活動をすすめます

- 地域を素材や題材にした各教科の授業構築
- 農業指導員やJAめむろの協力による食農体験
- 栄養教諭による食育指導や給食指導
- 認知症サポーター講座や高齢者疑似体験
- 町長や教育長をはじめ町内有識者の講話や談義
- 町内事業所を訪問しての職場体験や社会見学
- 氷灯夜など町内イベントへの出品出展や参加
- 地域を題材にした作品作り など

Ⅱ めむろ未来学 3 カ年計画

一年次（令和2年度）

◎ めむろ未来学のモデルプラン策定

- ① めむろ未来学概要図の作成
 - ・ めむろ未来学の学びの構造について明確化を図る
- ② めむろ未来学の小中9カ年の学びのマトリクス作成
 - ・ 各学校のふるさと学習の収集と整理
- ③ めむろ未来学の周知
 - ・ 所報、各種会議、各学校・地域への説明、リーフレット等による理解

二年次（令和3年度）

◎モデルプランをふまえた年間指導計画及び単元計画の作成

- ① 探究・提案・発信型の学びの構築
 - ・ 今までの題材について新たな視点(探究・提案・発信型)での単元の見直し
 - ・ 単元の目標
 - ・ Chrome book を活用した提案・発信の研究
- ② 地域素材の収集と整理、教材科の工夫
 - ・ 地域教材の共有化（人、もの、こと）
 - ・ 地域学校協働活動推進員（CSコーディネーター）との連携
 - ・ 地域協力隊や商工会青年部、農協青年部との連携・活用

三年次（令和4年度）

◎ めむろ未来学の年間指導計画及び単元計画の整理・統合

- ① 年間指導計画及び単元指導計画の実践研究
 - ・ 主体的・対話的で深い学びに向けた授業改善
 - ・ 評価規準、評価方法について
 - ・ めむろの「ひと・もの・こと」との出会い方の工夫
 - ・ 対話的な活動を活性化させるための手立ての工夫
 - ・ 「振り返る」場面での対話的な活動の工夫
- ② 町内各小中学校での9カ年の学びの共有化
 - ・ めむろ未来学での共通の核となる学びの確立
 - ・ キャリア教育、ICT教育との関わりの明確化

Ⅲ めむろ未来学全体構造

芽室町教育研究所
小・中の各教科・総合的な学習の時間・領域等に存在しているふるさと学習関連の単元を把握・分類・整理して、ふるさと学習に関する内容をモデル化する

めむろ未来学

町教育大綱
心豊かで「次代に輝く芽室の人」を地域全体で育む

目指す子ども像

めむろの魅力を探究し、提案や発信していく活動を通して、ふるさとに愛着と誇りをもち、未来を創ることのできる児童生徒

学びの基盤

十五の春に「めむろ」について自信をもって語るための力

- A 小・中9力年での継続的な学び
- B 本物体験・交流学习の重視
- C 町の「ひと」「もの」「こと」から、めむろの魅力の発見
- D 町の一人としての自分を見つめ、めむろへの愛着心の育成
- E 町づくりを学び、めむろの未来につなげていく態度の育成
- F 自らの将来や職業を主体的に考え、めむろで生きることへの意識の向上

芽夢ロード・プロジェクト

食と農をつなぐ学び

食べ物の生産現場であり、本町の基幹産業でもある農業と、その生産者に町内の児童・生徒がふれあう機会を設け、農業を知り、郷土を知り、より芽室町に愛着を持ってもらう

農業

長芋掘り体験

農園活動

農協青年部

商業

工業(工場)

商工会ワークショップ

職業体験

商工会青年部

福祉

認知症サポーター養成講座

赤ちゃんふれあい教室

地域おこし協力隊
(芳野都馬)

町ジモト大学

中高生が地元の大人と考え、交流し、実行・実践する場や機会

ふるさと「めむろ」の未来を拓く人を育む
探究・提案・発信型の学び

芽夢Look

- 視点
- ・主体的・対話的で深い学び
 - ・探究的・協働的な学習
 - ・社会に参画する態度
 - ・町を育てる学力
 - ・話す・聞く力、対話力

探究・提案・発信型授業

総合的な学習の時間

- ・各学校の特色ある教科横断的な教育課程編成
- ・自己有用感の醸成

1・2年生 生活科
めむろのみりよく発見隊
3・4年生 社会科副読本

各教科・領域

芽室遺産

芽室新遺産

人材派遣

町づくりや自らの将来に対する意見・姿勢作り

- 地元人材による講話
- 町長、教育長の学校訪問
- ・商工会青年部など地域で活躍している方との交流
- ・町政執行ビジョンの説明会
- ・教育執行方針説明会

地域教材

氷灯夜(氷のお面)

ゲートボール体験

スキー学習

自分史

めむろ史

キャリア教育

めむろ郷育・夢育応援団本部

コミュニティ・スクール

学校運営協議会

「みんなで創り みんなでつなぐ
ずっと輝くまち めむろ」

IV エリア別全体計画・単元計画

1 芽室小・芽室中エリア

○「めむろ未来学」芽室小・芽室中編

○単元計画

- ・芽室遺産を調べよう
- ・芽室PR大作戦
- ・夢育 地元の高校を体験する



「めむろ未来学」全体計画（令和4年度）

芽室小・芽室中編

めむろ未来学は、ふるさと「めむろ」の未来を拓く人を育む 探究・提案・発信型の学びを、小・中9ヶ年ですすめるものです

		夢育関連の単元			郷育関連の単元									
		小学校第1学年	小学校第2学年	小学校第3学年	小学校第4学年	小学校第5学年	小学校第6学年	中学校第1学年	中学校第2学年	中学校第3学年				
単元（題材）名	教科	国語 英語	学校のことを伝えよう (国語)1月	町の「すてき」をつたえ ます(国語)9月	クラスの「生き物ブック」を作 ろう(国語)6月	リーフレットで知らせよ う(国語)6月	伝わるように構成を考え よう(国語)6月	地域の防災について話 し合おう(国語)5月	読み手を意識して報告 文を整える。(国語)	よりよい結論を導く討 論をする(国語)	表現の工夫を評価してス ピーチをする。(国語)			
			思い出のアルバム (国語)2月	これまでこれから (国語)3月	町の行事について発表 しよう(国語)12月	新聞を作ろう (国語)8月	「町じまん」をすいせんし よう(国語)6月		調べた内容を聞く (国語)		コミュニケーションの場を考 える一環に応じた表現や話 題(国語)			
		社会 生活				自分の成長を振り返っ て(国語)2月	「考えを広げるために、立場を決め て話し合おう(国語)10月			自分の住んでいるところについ て伝えよう。・あなたの夢を語ら う！(英語)	ディベートをしよう (英語)			
			きせつとなかよし(春夏 秋冬)(生活)7月～2月	まちはたからばこ (生活)4月	町の様子 (めむろ学)5月	水はどこから (めむろ学)5月	低い土地の暮らし (社会)5月	私たちの生活と政治(役場・ 町議会)(社会)5月			地方自治と私たち(社会)			
		理科		めざせ野菜名人 (生活)5月	農家の仕事工場の仕事 (めむろ学)10月	ゴミの処理と利用 (めむろ学)5月	国土の気候の特色 (社会)5月							
				生き物大好き (生活)6月	店ではたらく人 (めむろ学)7月	地震から暮らしを守る (めむろ学)5月	あたたかい土地のくらし寒い土 地のくらし(社会)5月	「土地のつくり」(理科) 10月	身の回りの生物の観 察(理科)	明日の天気予想する (理科)				
		図工 美術	消防車の絵をかこう (図工)9月			火事から仕事を守る (めむろ学)11月	強したいもの、伝えたいもの (めむろ学)10月	くらしを支える食糧生 産(社会)7月						
						事故や事件から暮らしを 守る(めむろ学)11月	地域の尽くした先人 (めむろ学)9月	これからの食糧生産とわた したち(社会)9月						
		その他				町の様子の移り変 わり(めむろ学)1月		情報を生かす産業 (社会)12月		ゴルフの得点の表し方 (数学)	コンビニのデータ活用 (数学)	町の建物を相似を使って 図ってみよう(数学)		
						ねん土マイタウン (図工)2月	写生会(図工)9月	植物の発芽や成長 (理科)5月	「共に生きる地域での生 活」(家庭)1月			自分は芽室町のどこにいる でしょう。(数学)		
	総合的な学習 生活		食農体験 ※めむろ丸かじりプロジェクト(6年生)						食農体験					
			栄養教諭食育指導(生活)9月		栄養教諭食育指導(総合)10月		栄養教諭食育指導(総合)11月		栄養教諭食育指導					
		みんなだれかに (道徳)7月	ひかり小学校のじまんは ね(道徳)4月	芽室遺産を調べよう (総合)	芽室PR大作戦 (総合)		うちら「ネコの手ボラン ティア」(道徳)4月	めむろ地域学習 (総合)	地域職場学習・進路 学習(総合)	地域学習・芽室と課題を 取り組みの提案(総合)				
		みつけてみよう (道徳)11月	広いせかいのたぐさんの人 たちと(道徳)6月	伝統文化の尊重(道徳)			白神山地(道徳)5月	教育長夢育講話	地域の違いを知る (修学旅行)	町長夢育講話				
			今ほくのできることなら (道徳)2月	国や郷土を愛する態度(道徳)			新しい日本に～龍馬の 心～(道徳)11月	ぼくのふるさと(道徳)	職場体験学習 (総合)					
			「ふるさといいとこさが し」(道徳)2月	「ふるさとを守った大イ チョウ」(道徳)10月	親から子へ、そして 孫へ(道徳)	職業調べ(総合)10月	郷土を掘る(道徳)	住みよい社会に(道徳)						
			芽室の自然を探検し よう(総合)5月	芽室の特産物を調べに 行こう(総合)5月			故郷の郷 歌詞の心(道徳)	祭りの夜(道徳)						
							楽寿号に乗って(道徳)	心でいただく伝統の味(道徳)						
							本が泣いてます(道徳)	今度は私の番だ(道徳)						
							桜に集う人々(道徳)	大切なものは何？(道徳)						
							冬の使者マガン(道徳)							
生活科・総合的な学習の時間等で身に付けたい力	探究	課題設定	身近な人々・社会・自然などとの関わりや学習したことなどに対する、気づき・興味から課題を選択・設定することができる			身近な人々・社会・自然などに関わり、疑問を持ったり興味を広げたりして、課題を選択・設定することができる			身近な人々・社会・自然などに関わりの範囲を広げる中で抱いた、疑問や興味に対して、目的・対象・方法を明確にして、実生活に結び付けよう、課題を選択・設定することができる			様々な人々・社会・自然などに関わりの中から問題を見つけ、目的・対象・方法を明確にして、実社会、実生活に結び付けよう、課題を選択・設定することができる		
		知る	気付きや興味に応じて、身近な人に質問したり、本や図鑑を読んだりして情報を収集することができる			身近な人や施設でのインタビューや図書を利用するなどして、課題に沿った情報を収集することができる			課題意識を持って、ネットや書籍等を利用したり専門家に聞いたりして、必要な情報を収集・選択することができる			収集した情報を課題に結び付けたり、目的に応じて手段を選択し情報収集したりすることができる		
		学び・発見	情報(気付きや思ったことなど)を出し合い、共通点や違いがあることや、分類したり比べたりすることのよさに気付くことができる			情報(気付きや思ったことなど)を出し合い、話し合いの中で共通や違いがあることに気付いたり、比較や分類をしたりすることができる			思考ツールなど、提示された方法を用い、情報を分類、比較、結合させるなどして分析することができる			思考ツールなど適切な方法を選択し、情報を分類、比較、結合するなどして、関連付けたり体系化したりすることができる		
		発信・提案	活動を通して得た気付きや学んだことを順序立てて考えることができる。分かりやすい方法でまとめ、伝え合うことができる			体験や調査に基づいて、目的に応じた方法で自分の思いや考えをまとめることができる。大切なことが相手に伝わるよう工夫して伝え合うことができる			相手や場・目的に応じ自分の思いや考えを論理的にまとめることができる。まとめたことを適切な方法で伝え合い、思いや考えを広げることができる			相手や場・目的に応じ客観性のある根拠を示して自分の思いや考えを論理的にまとめることができる。まとめたことを適切な方法で伝え合い、思いや考えを広げることができる		
全ての土台となる力	話す・聞く力	・紹介や説明、報告など伝えたいことを話したり、それらを聞いて声に出して確かめたり感想を述べたりできる活動			・説明や報告など調べたことを話したり、それらを聞いて声に出して確かめたり感想を述べたりする活動			・意見や提案など自分の考えを話したり、それらを聞いて声に出して確かめたりする活動			・紹介や報告など伝えたいことを話したり、それらを聞いて声に出して確かめたりする活動			
		・尋ねたり応答したりするなどして、少人数で話し合う活動			・互いの考えを伝えるなどして、グループや学級全体で話し合う活動			・それぞれの立場から考えを伝えるなどして話し合う活動			・互いの考えを伝えるなどして、少人数で話し合う活動			
	対話する力													
ICT活用力	GIGAスクール構想の中で、ふるさとめむろへの愛着と誇りや夢に挑戦する態度を育む活動													

十五の春に「めむろ」について自信をもって語るための力

十五の春に「めむろ」について自信をもって語るための力

めむろ未来学（総合的な学習の時間）				単元指導計画	
単 元 名			学校名	芽室小学校	
芽室遺産を調べよう			学 年	3学年	
			児童数	106人	
			授業者	担任・副担任	
（１） 単元の目標					
知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
- 調べたいことについてインターネットや本などを活用し、調べることができる。 - 調べたことを新聞やポスターなどにまとめることができる。 - まとめたことをみんなに伝えることができる。 - 芽室町の歴史や文化を知ろうとしている。		- 知りたい情報、大事な情報を選別することができる。 - 読み手に伝わりやすく工夫してまとめることができる。		- 芽室町の歴史や文化においてすごいところや気になるところを見つけることができる。 - 調べ方などを自分で決め、主体的に探究することができる。 - 他の児童の発表に対し、認めたり、新たに発見したりして意欲的に聞こうとしている。	
（２） 探究・提案・発信型学びの具体的な手立て					
探究型の学び		提案型の学び		発信型の学び	
調べてみたい、体験してみたいことを調べてみたい、地域の方から教えてもらったりし、より意欲を高める。		- 調べてわかったことや発見したことをみんなにわかりやすく伝えるために国語など他教科で学習したまとめ方をもとにまとめる。 - 自分が驚いたことやみんなに知ってほしいことを発表する。			
（３） 単元の指導と評価の計画（全14時間）					
時間	探 究 提 案 発 信	学習課題（◆） 主な学習活動（○）		評価の観点【 】 評価規準	
1	探 究	◆芽室についてよりたくさん知ろう ○芽室の自然や建物、文化について知っていることを整理する。		【態度】 ・芽室町について、自分の知っていることを思い出そうとしている。	
2	提 案 発 信	◆調べてみたいものを決めよう ○前回整理した内容の中から調べてみたいものを決める。 ○まとめ方の確認をし、自分がどんな情報をどのように獲得していくのか見通しを立てる。		【思考・判断・表現】 ・内容の中から、自分がどの課題にするか決める。	
3・4	探 究	◆調べ方を覚えよう ○タブレットの使い方を確認し、インターネットの使い方について練習する。		【知識・技能】 ・タブレットやインターネットの使い方について理解する。	
5～8	探 究	◆調べよう ○調べたいことについて情報を得る。 ○調べた情報の中から、気になることや知りたいことを整理し、調べる。 ○より詳しく調べていく。		【思考・判断・表現】 ・気になることやわからないことを調べようとする。 【知識・技能】 ・インターネットで調べることができる	

9	提 案	◆自分の考えをまとめていこう ○調べた情報を知って、自分が感じたことや思ったことをまとめていこう。	【思考・判断・表現】 ・自分の考えや思いを書こうとする。
10 5 12	提 案	◆ポスターにまとめていこう ○調べたことや自分の考えをポスターにまとめていく。 ○レイアウトや見出しなど見る人にわかりやすく。また、伝えたいことがすぐにわかるように考える。	【思考・判断・表現】 ・伝えたいことを明確にし、まとめようとする。 【知識・技能】 ・レイアウトや色などを工夫してわかりやすくまとめることができる。
13 ・ 14	発 信 提 案	◆発表しよう ○原稿を作り、より効果的に発表出来るように準備をする。 ○発表の練習をする。 ○調べたものをみんなに発表していく。	【思考・判断・表現】 ・他者の発表を聞いて、芽室についてより知識を深め、次につながるような考えをもつ。 【態度】 ・たくさんの発表を聞き、より芽室について興味をもつ。

めむろ未来学（総合的な学習の時間）				単元指導計画	
単 元 名			学校名	芽室小学校	
芽室PR大作戦			学 年	4学年	
			児童数	119人	
			授業者	担任・副担任	
(1) 単元の目標					
知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
- 調べたいことについてインターネットや本などを活用し、調べることができる。 - 調べたことをスライドショーにまとめることができる。 - まとめたことをみんなに伝えることができる。 - 芽室町の特産について知ろうとしている。		- 知りたい情報、大事な情報を選別することができる。 - 読み手に伝わりやすく工夫してまとめることができる。		- 芽室町のよいと思うところやすごいところを見つけることができる。 - 調べ方などを自分で決め、主体的に探究することができる。 - 伝える相手を想像して、よりよく伝えるように工夫している。	
(2) 探究・提案・発信型学びの具体的な手立て					
探究型の学び		提案型の学び		発信型の学び	
調べてみたい、体験してみたいことを調べてみたい、地域の方から教えてもらったりし、より意欲を高める。		調べてわかったことや発見したことをみんなにわかりやすく伝えるために国語など他教科で学習したまとめ方をもとにまとめる。		学校外の方に向けて、自分たちの考えや思いが伝わるように発表する。	
(3) 単元の指導と評価の計画（全18時間）					
時間	探究 提案 発信	学習課題（◆） 主な学習活動（○）		評価の観点【 】 評価規準	
1	探 究	◆芽室についてまとめよう ○芽室について知っていることを整理する。		【態度】 ・芽室町について、自分の知っていることを思い出そうとしている。	
2・3	提 案 発 信	◆グループを決めて、テーマを決めよう ○前回整理した内容の中から調べてみたいものを決める。 ○内容をよりくわしくPRするために調べたいことや活動してみたいことを考える。		【思考・判断・表現】 ・内容の中から、自分がどの課題にするか決める。	
4	探 究	◆調べ方を確認する ○タブレットの使い方を確認し、インターネットの使い方について確認する。		【知識・技能】 ・タブレットやインターネットの使い方について理解する。	
5～8	探 究	◆調べよう ○調べたいことについて情報を得る。 ○調べた情報の中から、気になることや知りたいことを整理し、調べる。 ○より詳しく調べていく。		【思考・判断・表現】 ・気になることやわからないことを調べようとする。 【知識・技能】 ・インターネットで調べることができる	

9 ～ 12	提 案	◆見学しに行こう ○依頼文を作成（国語に絡めて）し、あらかじめ質問の内容を決めておく。	【思考・判断・表現】 ・質問や気になっていることをまとめる。
13 ～ 16	提 案	◆スライドを作っていこう ○調べたことや自分の考えをスライドソフトを活用してまとめていく。 ○レイアウトや見出しなど見る人にわかりやすく。また、伝えたいことがすぐにわかるように考える。	【思考・判断・表現】 ・伝えたいことを明確にし、まとめようとする。 【知識・技能】 ・レイアウトや色などを工夫してわかりやすくまとめることができる。
17 ・ 18	発信提 案	◆発表しよう ○原稿を作り、より効果的に発表出来るように準備をする。 ○発表の練習をする。 ○まとめたものを親や学校外の方に発表していく。 ○礼状を作成（国語に絡めて）し、見学先に送る。	【思考・判断・表現】 ・発表の仕方において他者に向けて伝えるように工夫している。 【態度】 ・たくさんの発表を聞き、より芽室について興味をもつ。

めむろ未来学（総合的な学習の時間） 単元指導計画			
単 元 名		学校名	芽室中学校
夢育「進路学習・地元の高校を体験する」		学 年	2年生
		生徒数	168名
		授業者	学年団・外部講師
1 単元の目標			
知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
これまでの学習内容をもとに、考えたことを発信（表現）する力を身につけている。		学習したことを発信する際に、どのようなことに気をつけて発言すればよいかについて考えている。	課題解決に向けて身につけた学び方を生かし、自分のよさを発揮し、主体的に探究しようとしている。
2 探究・提案・発信型学びの具体的な手立て			
探究型の学び		提案型の学び	発信型の学び
地元の高校教諭による講話や授業を受けて、中学校卒業後の自分の将来について探究する。		外部講師の講話や授業をもとに、自分の将来について考えたことを学級や学年に対してプリントにまとめる。	外部講師の講話や授業から、自分の思いや考えを他者にわかりやすく発表（発信）する。
3 単元の指導と評価の計画（全4時間）			
時間	探 究 提 案 発 信	学習課題（◆） 主な学習活動（○）	評価の観点【 】 評価規準
1	探 究	◆地元の高校の授業を体験し、中学校卒業後の自分の姿を具体的に考えよう。 ○外部講師（高校教諭）による授業を体験する。	【態度】 これまで学習した内容をもとに、主体的に授業に臨んでいる。
2	発 信 提 案	◆外部講師（高校教諭）による講話を聴き、中学校卒業後の自分に必要なものについて考えよう。 ○現在の自分の状況を把握し、よりよい自分を目指して質疑応答に参加する。 ○2時間の学習を通して学んだことをまとめる。	【思考・判断・表現】【知識・技能】 - 講話を聴いたうえで、自分の状況を適切に判断し、質問している。 - 学習したことをもとに、よりよい今後の生活について考えている。（ワークシート）
3	探 究	◆地元の高校の授業を体験し、中学校卒業後の自分の姿を具体的に考えよう。 ○外部講師（高校教諭）による授業を体験する。	【態度】 前回の学習をふまえ、より主体的に授業に臨んでいる。
4	発 信 提 案	◆外部講師（高校教諭）による講話を聴き、中学校卒業後の自分に必要なものについて考えよう。 ○現在の自分の状況を把握し、よりよい自分を目指して質疑応答に参加する。 ○2時間の学習を通して学んだことをまとめる。	【思考・判断・表現】【知識・技能】 - 講話を聴いたうえで、自分の状況を適切に判断し、質問している。 - 学習したことをもとに、よりよい今後の生活について考えている。（ワークシート）

2 芽室南小・芽室中エリア

○「めむろ未来学」全体計画

芽室南小・芽室中編

○単元計画

- ・めむろまるごと農園活動
- ・まちじまん 大作戦！
- ・夢育 地元の高校を体験する



「めむろ未来学」全体計画（令和4年度）

芽室南小・芽室中編

めむろ未来学は、ふるさと「めむろ」の未来を拓く人を育む 探究・提案・発信型の学びを、小・中9ヶ年ですすめるものです

夢育関連の単元

郷育関連の単元

小学校第1学年 小学校第2学年 小学校第3学年 小学校第4学年 小学校第5学年 小学校第6学年 中学校第1学年 中学校第2学年 中学校第3学年

単元（題材）名	教科	国語 英語	学校のことを伝えよう（国語）	町の「すてき」をつたえます（国語）	クラスの「生き物ブック」を作ろう（国語）	リーフレットで知らせよう（国語）	伝えるように構成を考えよう（国語）		読み手を意識して報告文を整える。（国語）	よりよい結論を導く討論をする（国語）	表現の工夫を評価してスピーチをする（国語）	
			思い出のアルバム（国語）	これまでこれから（国語）	町の行事について発表しよう（国語）	新聞を作ろう（国語）	「町じまん」をすいせんしよう（国語）		調べた内容を聞く（国語）		コミュニケーションの場を考える一環に応じた表現や話題（国語）	
			クリーン作戦（生活）			自分の成長を振り返って（国語）	考えを広げるために立場を決めて話し合おう（国語）			自分の住んでいるところについて伝えよう。あなたの夢を語ろう！（英語）	ディベートをしよう（英語）	
		社会 生活	きせつとなかよし（春夏秋冬）（生活）	町がだいすきたんけんたい（生活）	町の様子（めむろ学）		低い土地の暮らし（社会）	私たちの生活と政治（社会）				
			理科	めむろのみりよく発見隊（生活）	としゃかんをたんけんしよう（生活）	農家の仕事、工場の仕事（めむろ学）	水はどこから（めむろ学）	国土の気候の特色（社会）			地方自治と私たち（社会）	
				図工 算数 数学		まちのくふうをさがそう（生活）	店ではたらく人（めむろ学）	ゴミの処理と利用（めむろ学）	あたたかい土地のくらし寒い土地のくらし（社会）	「土地のつくり」（理科）	身の回りの生物の観察（理科）	明日の天気予想する。（理科）
		しごとにチャレンジしよう（生活）	火事から仕事を守る（めむろ学）			地震から暮らしを守る（めむろ学）	くらしを支える食糧生産（社会）					
		町の人にもつたえよう（生活）	事故や事件から暮らしを守る（めむろ学）			残したいもの、伝えたいもの（文化・行事）（めむろ学）	これからの食糧生産とわたしたち（社会）		ゴルフの得点の表し方（数学）	コンビニのデータ活用（数学）	自分は芽室町のどこにいるでしょう（数学）	
		その他			めむろのみりよく発見隊（生活）	町の様子の変り変わり（めむろ学）	地域の尽くした先人（めむろ学）	情報を生かす産業（社会）				
				消防車の絵をかこう（図工）		ねん土マイタウン（図工）	地域の尽くした先人（めむろ学）	植物の発芽や成長（理科）			町の建物を三平方の定理を使って測ってみよう（数学）	
						写生会（図工）	花から実へ（理科）	「共に生きる地域での生活」（家庭）		町の建物を相似を使って図ってみよう（数学）		
	総合的な学習 食農教育	食農体験								食農体験		
		栄養教諭食育指導（生活）6月				栄養教諭食育指導（総合）7月		栄養教諭食育指導（総合）6月・9月		栄養教諭食育指導（総合）7月・2月・3月		
				クリーン作戦（校外清掃）						めむろ地域学習（総合）	地域職場学習・道路学習（総合）	地域学習：芽室と課題を取り組みの提案（総合）
		みんなだれかに（道徳）	ひかり小学校のじまはね（道徳）	伝統文化の尊重（道徳）				うちら「ネコの手ボランティア」（道徳）	教育長講話	地域の違いを知る（修学旅行）	町長講話	
		みつけてみよう（道徳）	広いせかいのたくさんの人たちと（道徳）	国や郷土を愛する態度（道徳）				白山山地（道徳）		職場体験学習（総合）		
		道徳	今ほくにごできることなら（道徳）	「ふるさといいとこさがし」（道徳）	「ふるさとを守った大イチョウ」（道徳）	親から子へ、そして孫へ（道徳）	新しい日本に～龍馬の心～（道徳）	ほくのふるさと（道徳）	住みよい社会に（道徳）			
									郷土を掘る（道徳）	心でいただく伝統の味（道徳）		
									案番号に乗って（道徳）	今度は私の番だ（道徳）		
		特別活動	スキー体験学習						本が泣いてます（道徳）	大切なものは何？（道徳）		
									桜に集う人々（道徳）	冬の使者マガン（道徳）		

十五の春に「めむろ」について自信をもって語るための力

十五の春に「めむろ」について自信をもって語るための力

生活科・総合的な学習の時間等で身に付けたい力	課題設定		身近な人々・社会・自然などとの関わりや学習したことなどに対する、気づき・興味から課題を選択・設定することができる	身近な人々・社会・自然などとの関わり、疑問を持った興味を広げたりして、課題を選択・設定することができる	身近な人々・社会・自然などとの関わりを範囲を広げる中で抱いた、疑問や興味に対して、目的・対象・方法を明確にして、実生活に結び付けよう、課題を選択・設定することができる	様々な人々・社会・自然などとの関わりの中から問題を見つけ、目的・対象・方法を明確にして、実社会、実生活に結び付けよう、課題を選択・設定することができる
	探究	知る	気付きや興味に応じて、身近な人に質問したり、本や図鑑を読んだりして情報を収集することができる	身近な人や施設でのインタビューや図書を利用するなどして、課題に沿った情報を収集することができる	課題意識を持って、ネットや書籍等を利用したり専門家に聞いたりして、必要な情報を収集・選択することができる	収集した情報を課題に結び付けたり、目的に応じて手段を選択し情報収集したりすることができる
		学び・発見	情報(気付きや思ったことなど)を出し合い、共通点や違いがあることや、分類したり比べたりすることのよさに気付くことができる	情報(気付きや思ったことなど)を出し合い、話し合いの中で共通や違いがあることに気付いたり、比較や分類をしたりすることができる	思考ツールなど、提示された方法を用い、情報を分類、比較、結合させるなどして分析することができる	思考ツールなど適切な方法を選択し、情報を分類、比較、結合するなどして、関連付けたり体系化したりすることができる
	発信・提案		活動を通して得た気付きや学んだことを順序立てて考えることができる。分かりやすい方法でまとめ、伝え合うことができる	体験や調査に基づいて、目的に応じた方法で自分の思いや考えをまとめることができる。大切なことが相手に伝わるよう工夫して伝え合うことができる	相手や場・目的に応じ自分の思いや考えを論理的にまとめることができる。まとめたことを適切な方法で伝え合い、思いや考えを広げることができる	相手や場・目的に応じ客観性のある根拠を示して自分の思いや考えを論理的にまとめることができる。まとめたことを適切な方法で伝え合い、思いや考えを広げることができる

全ての土台となる力	話す・聞く力	・紹介や説明、報告など伝えたいことを話したり、それらを聞いて声に出して確かめたり感想を述べたりできる活動	・説明や報告など調べたことを話したり、それらを聞いて声に出して確かめたり感想を述べたりできる活動	・意見や提案など自分の考えを話したり、それらを聞いて声に出して確かめたり感想を述べたりできる活動	・紹介や報告など伝えたいことを話したり、それらを聞いて声に出して確かめたり感想を述べたりできる活動	・説明や提案など伝えたいことを話したり、それらを聞いて声に出して確かめたり感想を述べたりできる活動
	対話する力	・尋ねたり応答したりするなどして、少人数で話し合う活動	・互いの考えを伝えるなどして、グループや学級全体で話し合う活動	・それぞれの立場から考えを伝えるなどして話し合う活動	・互いの考えを伝えるなどして、少人数で話し合う活動	・それぞれの立場から考えを伝えるなどして、議論や討論をする活動
	ICT活用能力	GIGAスクール構想の中で、ふるさとめむろへの愛着と誇りや夢に挑戦する態度を育む活動				

芽室町教育研究所

めむろ未来学（総合的な学習の時間） 単元指導計画			
単 元 名		学校名	芽室南小学校
めむろまるごと農園活動（食農体験）		学 年	4年
		児童数	16名
		授業者	JA 青年部・担任
（１） 単元の目標			
知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
- 必要に応じて、適切な資料を見つけ、調べることができる。 - 作物の栽培方法を理解することができる。 - 作物の様子や変化について、わかりやすく記録することができる。		- 作物の生育状況から、必要な作業やそのために必要な用具などを考え、作業することができる。 - 記録をもとに考察し、表現することができる。	農園活動に興味をもち、友達と力を合わせ、協力して調べ学習や栽培活動に取り組もうとしている。
（２） 探究・提案・発信型学習の具体的な手立て			
探究型の学び		提案型の学び	発信型の学び
収穫に向けて、作物の栽培方法やその時その時の作業について、必要な資料を用いて明らかにしていく。		学級で取り組む作物を決定する際に、調べて分かったことを根拠として、自分が薦める作物について提案する。	農園での作業や作物についてまとめ、気づいたことなどを交流する。
（３） 単元の指導と評価の計画（全20時間）			
時間	探究 提案 発信	学習課題（◆） 主な学習活動（○）	評価の観点【 】 評価規準
1	探究	◆農園活動の計画を立てよう ○今年度の見通しをもち、栽培したい作物について考える。	【主体的に学習に取り組む態度】 ◇農園活動に興味をもち、友達と力を合わせ、協力して調べ学習や栽培活動に取り組もうとしている。
2 3	探究 提案	◆作物を決めよう ○いろいろな作物の育て方や食べ方などを調べ、自分が推薦する作物を紹介しながら、学級で取り組む作物を決定する。	【知識・技能】 ◇必要に応じて、適切な資料を見つけ、調べることができる。
4 5	探究	◆育て方を調べよう ○自分が選んだ作物の栽培方法などを詳しく調べ、記録する。	【知識・技能】 ◇作物の栽培方法を理解することができる。
6		◆作物を植え付けよう ○JA青年部のかたにサポートしてもらいながら、作物の植え付けをする。	【主体的に学習に取り組む態度】 ◇作物に応じた適切な植え方に興味を持ち、友達と協力しながら作業に取り組んでいる。

7 ～ 11	探 究	◆畑の世話をしよう ○作物の育成状況に合わせた作業を確認したり、必要な作業に取り組んだりするとともに、様子を記録する。 ○ＪＡ青年部のかたに生育状況や今後の作業などについてアドバイスしてもらう。	【知識・技能】 ◇必要に応じて、適切な資料を見つけ、調べることができる。 ◇作物の様子や変化について、わかりやすく記録することができる。 【思考・判断・表現】 ◇作物の生育状況から、必要な作業やそのために必要な用具などを考え、作業することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ◇友達と力を合わせ、協力して調べ学習や栽培活動に取り組もうとしている。
12		◆収穫しよう ○ＪＡ青年部のかたに教えてもらった目安を参考にし、ちょうどよい時期に収穫する。	【主体的に学習に取り組む態度】 ◇友達と力を合わせ、進んで活動に取り組もうとしている。
13 14		◆収穫祭をしよう（計画） ○お世話になったＪＡ青年部のかたと収穫祭をするための計画を立てる。	【主体的に学習に取り組む態度】 ◇収穫祭の計画に興味をもち、実施に向けて進んで考えを話すことができる。
15 16		◆収穫祭をしよう（当日） ○収穫したじゃがいも、とうもろこしなどを、煮る・焼くなどの簡単な調理をして味わう。	【主体的に学習に取り組む態度】 ◇友達と力を合わせ、進んで活動に取り組もうとしている。
17		◆畑の片付け ○畑の後始末をする。	【主体的に学習に取り組む態度】 ◇友達と力を合わせ、進んで活動に取り組もうとしている。
18 ～ 20	発 信	◆農園活動の振り返り ○農園活動について振り返り、取り組んできたことや気づいたことなどをまとめる。 ○まとめたものを生かしながら、友達と情報交換をする。	【思考・判断・表現】 ◇記録をもとに活動や作物について考察し、表現することができる。

めむろ未来学（国語） 単元指導計画			
単 元 名		学校名	芽室南小学校
伝わるように構成を考えよう 「町じまん」大作戦！		学 年	5 年
		児童数	1 6 人
		授業者	担任
（１） 単元の目標			
知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・言葉には、事物の内容を表す働きや、伝える働きがあることに気づいている。		・「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。	・進んで経験したことや想像したことなどから書くことを見つけ、学習の見通しをもって記録する文章を書こうとしている。
（２） 探究・提案・発信型学びの具体的な手立て			
探究型の学び		提案型の学び	発信型の学び
・自分が選んだ物を「町じまん」を推薦するために、必要な資料を調べたり、インタビューや見学に行ったりする。		・集めた情報を根拠とし、その根拠を明らかにしながら自分が選んだ物を「町じまん」として推薦（提案）する。	・自分が選んだ「町じまん」を、ポスターや動画などにまとめ、発信する。
（３） 単元の指導と評価の計画（話す聞く４・書く５ 全9時間）			
時間	探 究 提 案 発 信	学習課題（◆） 主な学習活動（○）	評価の観点【 】 評価規準
1	探 究	◆「町じまん」に推薦するものを決めよう ○学習の流れをとらえる。 ○観光・商業・農業などの分野ごとに、芽室町の「じまん」の候補となるものを出し合う。 ○候補の中から、自分が推薦するものを選ぶ。	【主体的に学習に取り組む態度】 ◇学習活動についての見通しを持ち、「町じまん」の候補を発表している。
2	探 究	◆推薦するものについて調べよう ○自分が選んだものについて、調べたい事柄や調べ方を考える。	【主体的に学習に取り組む態度】 ◇自分が選んだ候補について、調べる事柄や方法を考えている。
3 4	探 究	◆推薦するものについて調べよう ○自分が考えた調べ方で、推薦するものについて調べ学習を進める。	【探究型の学び】
5	探 究	◆推薦する理由をまとめよう ○調べて分かったことを根拠として、自分が選んだものを「町じまん」に推薦するプレゼンを考える。	【探究型の学び】
6 7	発 信	◆推薦のプレゼンを作ろう ○自分が選んだものの魅力を伝えることができるように、工夫しながらプレゼンを作る	【発信型の学び】
8 9	提 案 発 信	◆「町じまん」のプレゼンをしよう ○自分がまとめたものを発表し合う。 ○発表をもとに、「町じまん」、町の魅力についてまとめる。	【提案型・発信型の学び】

めむろ未来学（総合的な学習の時間） 単元指導計画			
単 元 名		学校名	芽室中学校
夢育「進路学習・地元の高校を体験する」		学 年	2年生
		生徒数	168名
		授業者	学年団・外部講師
1 単元の目標			
知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
これまでの学習内容をもとに、考えたことを発信（表現）する力を身につけている。		学習したことを発信する際に、どのようなことに気をつけて発言すればよいかについて考えている。	課題解決に向けて身につけた学び方を生かし、自分のよさを発揮し、主体的に探究しようとしている。
2 探究・提案・発信型学びの具体的な手立て			
探究型の学び		提案型の学び	発信型の学び
地元の高校教諭による講話や授業を受けて、中学校卒業後の自分の将来について探究する。		外部講師の講話や授業をもとに、自分の将来について考えたことを学級や学年に対してプリントにまとめる。	外部講師の講話や授業から、自分の思いや考えを他者にわかりやすく発表（発信）する。
3 単元の指導と評価の計画（全4時間）			
時間	探 究 提 案 発 信	学習課題（◆） 主な学習活動（○）	評価の観点【 】 評価規準
1	探 究	◆地元の高校の授業を体験し、中学校卒業後の自分の姿を具体的に考えよう。 ○外部講師（高校教諭）による授業を体験する。	【態度】 これまで学習した内容をもとに、主体的に授業に臨んでいる。
2	発 信 提 案	◆外部講師（高校教諭）による講話を聴き、中学校卒業後の自分に必要なものについて考えよう。 ○現在の自分の状況を把握し、よりよい自分を目指して質疑応答に参加する。 ○2時間の学習を通して学んだことをまとめる。	【思考・判断・表現】【知識・技能】 - 講話を聴いたうえで、自分の状況を適切に判断し、質問している。 - 学習したことをもとに、よりよい今後の生活について考えている。（ワークシート）
3	探 究	◆地元の高校の授業を体験し、中学校卒業後の自分の姿を具体的に考えよう。 ○外部講師（高校教諭）による授業を体験する。	【態度】 前回の学習をふまえ、より主体的に授業に臨んでいる。
4	発 信 提 案	◆外部講師（高校教諭）による講話を聴き、中学校卒業後の自分に必要なものについて考えよう。 ○現在の自分の状況を把握し、よりよい自分を目指して質疑応答に参加する。 ○2時間の学習を通して学んだことをまとめる。	【思考・判断・表現】【知識・技能】 - 講話を聴いたうえで、自分の状況を適切に判断し、質問している。 - 学習したことをもとに、よりよい今後の生活について考えている。（ワークシート）

3 上美生小・上美生中エリア

○「めむろ未来学」全体計画

上美生小・上美生中編

○単元計画

- ・地域との関わり
- ・わたしたちのふるさと芽室町
- ・人はなぜはたらくのか
- ・芽室町の農業を知る



「めむろ未来学」全体計画（令和4年度）

上美生小・上美生中編

めむろ未来学は、ふるさと「めむろ」の未来を拓く人を育む 探究・提案・発信型の学びを、小・中9ヶ年ですすめるものです

夢育関連の単元															郷育関連の単元																																																																																															
小学校第1学年					小学校第2学年					小学校第3学年					小学校第4学年					小学校第5学年					小学校第6学年					中学校第1学年					中学校第2学年					中学校第3学年																																																																						
教科	国語	学校のことを伝えよう（国語）4月					町の「すてき」をつたえます（国語）5月					クラスの「生き物ブック」を作ろう（国語）6月					リーフレットで知らせよう（国語）6月					伝えるように構成を考えよう（国語）6月					My town is beautiful（外国語）5月・6月					内容を整理して説明する（国語）9月					説得力のある提案をする（国語）9月					構成を考えて主張をまとめる（国語）9月																																																																				
		思い出のアルバム（国語）3月					これまでこれから（国語）3月					町の行事について発表しよう（国語）9月					新聞を作ろう（国語）9月					「町じまん」をすいせんしよう（国語）7月																																																																																								
												自分の成長を振り返って（国語）3月										考えを広げるために立場を決めて話し合おう（国語）10月																				地方自治と私たち（社会）																																																																				
		きせつとなかよし（春夏秋冬）（生活）5月・7月・9月・2月					町がだいすきたんけんたい（生活）5月					町の様子（めむろ学）4月～6月					水はどこから（めむろ学）9月・10月					低い土地の暮らし（社会）5月					私たちの生活と政治（社会）4月・5月																																																																																			
		きれいにさいてねわたしのはな（生活）5月～10月					としよかんをたんけんしよう（生活）7月					農家の仕事工場の仕事（めむろ学）6～8月					ゴミの処理と利用（めむろ学）7月・8月・9月					国土の気候の特色（社会）5月										身の回りの生物（理科）					大気と天気予報（理科）																																																																									
	理科	地域探検（生活）6月					まちのくふうをさがそう（生活）7月					店ではたらく人（めむろ学）9月～10月					自然災害から暮らしを守る（めむろ学）6月					あたまたく土地のくらし（社会）6月																																																																																								
		しごととチャレンジしよう（生活）9月					火事から仕事を守る（めむろ学）11月					残したいもの、伝えたいもの（文化・行事）（めむろ学）10月					くらしを支える食糧生産（社会）6月																																																																																													
		写生会（図工）9月					町の人にもつたえよう（生活）9月					事故や事件から暮らしを守る（めむろ学）12月					地域の尽くした先人（めむろ学）10月・11月・12月					これからの食糧生産とわたしたち（社会）9月					印象に残るシンボルマーク（美術）3月					その一枚が人を動かす（美術）6月																																																																														
		紙版画（図工）10月					めざせ野菜名人（生活）5月～9月					町の様子の移り変わり（めむろ学）1月～3月										情報を生かす産業（社会）1月					「共に生きる地域での生活」（家庭）2月					あなたの夢を語ろう（英語）6月																																																																														
		写生会（図工）9月					写生会（図工）9月					写生会（図工）9月					植物の発芽や成長（理科）4月～6月					写生会（図工）（5月・6月）9月																																																																																								
その他																					花から実へ（理科）8月・9月					「土地のつくり」（理科）10月										スキー学習（体育）1月																																																																										
											食農体験（縦割り活動）5月～11月																				食農体験11月																																																																															
	栄養教諭食育指導（生活）7月・8月										栄養教諭食育指導（総合）11月										栄養教諭食育指導（総合）12月										栄養教諭食育指導																																																																															
						地域の自然の素晴らしさと人々4月～3月 地域の環境の良さや問題点と人々										地域の産業の良さと人々4月～3月 地域の総合的な現状と課題、未来像										教育長講話					地域講師講話					町長講話																																																																										
	みんなだれかに（道徳）7月					ひかり小学校のじまんはね（道徳）5月																				認知症サポート養成講座（総合）11月					職場体験学習（総合）10月					地域学習（総合）4月																																																																										
道徳	みつけてみよう（道徳）11月					広いせいのたぐさんの人たちと（道徳）8月					伝統文化の尊重（道徳）										うちら「ネコの手ボランティア」（道徳）5月					自然体験学習（総合）6月					住みよい社会に（道徳）4月					島唄の心を伝えたい（道徳）4月																																																																										
	今ぼくにできることなら（道徳）2月										国や郷土を愛する態度（道徳）										白山山道（道徳）6月					ぼくのふるさと（道徳）6月					祭りの夜（道徳）7月					花火と灯ろう流し（道徳）7月																																																																										
						「ふるさといいとこさがし」（道徳）2月					「ふるさとを守った大イチョウ」（道徳）10月					親から子へ、そして孫へ（道徳）12月					新しい日本に～龍馬の心～（道徳）11月					古都の雅 菓子心（道徳）3月					心でいただく伝統の味（道徳）					よみがえれ、日本海！（道徳）1月																																																																										
	小・中・保 合同運動会（地域との交流）5月																														本が泣いています（道徳）9月										冬の使者「マガン」（道徳）																																																																					
	収穫祭（縦割り活動）10月																																								桜に集う人の思い（道徳）3月																																																																					
特別活動	スキー体験学習 2月																																																																																																													
生活科・総合的な学習の時間等で身に付けたい力	課題設定	身近な人々・社会・自然などとの関わりや学習したことなどに対する、気づき・興味から課題を選択・設定することができる					自分の関心から地域についての課題を設定し、解決方法を考えて追究することができる					地域の現状を踏まえて課題を設定し、解決方法や手順を考え、見通しをもって追求することができる					様々な人々・社会・自然などに関わりの中から問題を見つけ、目的・対象・方法を明確にして、実社会、実生活に結び付くような、課題を選択・設定することができる																																																																																													
		探究	知り					気付きや興味に応じて、身近な人に質問したり、本や図鑑を読んだりして情報を収集することができる					目的に応じた対象を決め、自分たちの身近なところから情報を集めることができる					目的に応じて手段を選択し、情報を収集したり、必要な情報を選んだりすることができる					収集した情報を課題に結び付けたり、目的に応じて手段を選択し情報収集したりすることができる																																																																																							
			学び・発見					情報（気付きや思ったことなど）を出し合い、共通点や違いがあることや、分類したり比べたりすることのよさに気付くことができる					問題状況における事実や関係を、事象を比較したり分類したり、数量などで客観的に比較したりして、特徴を見つけることができる					視点を明確にして問題状況における事実や関係と、整理した情報を関連付けたり、多面的に考察したりして理解し、多様な情報の中にある特徴を見つけることができる					思考ツールなど適切な方法を選択し、情報を分類、比較、結合するなどして、関連付けたり体系化したりすることができる																																																																																							
			発信・提案					活動を通して得た気付きや学んだことを順序立てて考えることができる。分かりやすい方法でまとめ、伝え合うことができる					相手に応じて分かりやすくまとめ、表現することができる。（スライドショー、新聞等）学習したことを振り返り、生活に生かそうとすることができる					相手や目的、意図に応じ工夫してまとめ、表現することができる（ポスターセッション、プレゼンテーション等）学習の仕方を取り、学習や生活に生かすことができる					相手や場・目的に応じて客観性のある根拠を示して自分の思いや考えを論理的にまとめることができる。まとめたことを適切な方法で伝え合い、思いや考えを広げることができる																																																																																							
全ての土台となる力	話す・聞く力					紹介や説明、報告など伝えたいことを話したり、それらを聞いて声に出して確かめたり感想を述べたりできる活動					説明や報告など調べたことを話したり、それらを聞いて活動・インタビューなどをして必要な情報を集めたり、それらを発表したりする活動					意見や提案など自分の考えを話したり、それらを聞いて活動・インタビューなどをして必要な情報を集めたり、それらを発表したりする活動					紹介や報告など伝えたいことを話したり、それらを聞いて活動・インタビューなどをして必要な情報を集めたり、それらを発表したりする活動					説明や提案など伝えたいことを話したり、それらを聞いて活動・インタビューなどをして必要な情報を集めたり、それらを発表したりする活動					提案や主張など自分の考えを話したり、それらを聞いて質問したり評価などを述べたりする活動																																																																															
	対話する力					尋ねたり応答したりするなどして、話し合う活動					課題解決に向けて、身近な人と力を合わせて取り組む探究活動・質問するなどして情報を集めるなどして、グループや学級全体で話し合う活動					課題解決に向けて他者と協働して取り組む探究活動・それぞれの立場から考えを伝えるなどして話し合う活動					互いの考えを伝えるなどして、少人数で話し合う活動					それぞれの立場から考えを伝えるなどして、議論や討論をする活動					互いの考えを生かしながら議論や討論をする活動																																																																															
	ICT活用力					GIGAスクール構想の中で、ふるさとめむろへの愛着と誇りや夢に挑戦する態度を育む活動																																																																																																								

十五の春に「めむろ」について自信をもって語るための力

めむろ未来学（総合的な学習の時間） 単元指導計画			
単 元 名		学校名	上美生小学校
わたしたちのふるさと「芽室町」～食と環境～		学 年	第3・4学年
		児童数	3年 名・4年 名
		授業者	担任
(1) 単元の目標			
知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・3年～地域の自然の素晴らしさやそこに暮らす人々の願いがわかる。 ・4年～地域の環境の良さや問題点、それを守る人々の工夫や努力がわかる。 ・3・4年共通 情報を比較・分類する等、探究の課程に応じた技能を身につける。		・3年～自己課題を決定し、まとめを見通しながら、探究活動に取り組む。 ・4年～調べた情報を基に考えたり、まとめたりすることができる。 ・3・4年共通～相手に応じてわかりやすくまとめ、表現している。	・課題の解決に向け、目的意識を持ち、意欲的に取り組む。 ・身近な人と力を合わせて探究活動に取り組む。
(2) 探究・提案・発信型学びの具体的な手立て			
探究型の学び		提案型の学び	発信型の学び
・食体験や実体験をもとに課題を設定する。 ・疑問や興味関心にもとづき、どのような方法だと必要な情報を集めることができるかを考え、できることの中から選択し、収集する中で明らかにしていく。		・探究活動を通しての気づきや発見したことを、今までの学びをもとに、自分なりに分析・整理しまとめる。 ・他教科等で学んだ表現方法の中からわかりやすく伝える方法を選択し、グループで協力しながら準備し、提案する。	
(3) 単元の指導と評価の計画（全30時間）			
時間	探 究 提 案 発 信	学習課題（◆） 主な学習活動（○）	評価の観点【 】 評価規準
1 2 3	探 究	◆自己課題の設定 ○芽室町の特産品から原材料を調べる。 ○探ってみたいひみつから課題を立てる。 「Chromebook の活用」	●食体験を通して自己課題を設定し、課題意識を持つことができています。【思・判・表】
4 5	探 究	◆課題解決・見通す ○課題解決を解決するための計画を立てる。	●全体を見通し、必要な事柄を取り入れた計画を立てている。【思考・判断・表現】
6～ 15	探 究	◆課題解決・調べる ○課題解決に向けて情報収集をする。 「Chromebook の活用」	●地域の良さや問題点、人々の思いについて知る。【知識・技能】 ●必要に応じ、複数の収集手段を活用し、情報を集めている。【思考・判断・表現】 ●目的意識を持ち、友達と協力し合い、意欲的に情報収集に取り組む。【主体的に学習に取り組む態度】
16 ～ 25	提 案	◆まとめる ○まとめの計画を立てる。 ○調べた情報を整理する。 ○整理した情報を計画に沿って表現する。 「Chromebook の活用」	●気づきや発見、自分の考えなどをまとめ、判断し、適切な手段を使って表現している。【思考・判断・表現】 ●友達と協力し合い、活動を見通しながら意欲的に取り組んでいる。【主体的に学習に取り組む態度】
26 27 28 29	提 案	◆伝える ○発表に向けて準備する。 ○発表会を行う。 「Chromebook の活用」	●「伝えたいこと」や「わかりやすい伝え方」を考えている。 ●友達の発表をしっかりと聴き、考えている。【思考・判断・表現】 ●友達と協力し、発表に向けて意欲的に取り組んでいる。【主体的に学習に取り組む態度】
30	探 究	◆振り返り ○活動を振り返り、芽室町の自然や環境について自分の考えを持つ。	●達成できたことなどを振り返ることができている。【思考・判断・表現】 ●芽室町について自分なりの考えを持っている。【主体的に学習に取り組む態度】

めむろ未来学（総合的な学習の時間） 単元指導計画			
単 元 名		学校名	上美生小学校
地域とのかかわり（食農体験）		学 年	第3・4学年
		児童（生徒）数	3年 名・4年 名
		授業者	担任
（1） 単元の目標			
知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
地域の農産物を育て、自然や環境について体感する。		作物の成長過程を観察し、育てるために必要なことを考え、調べたことをもとに、状況を考えながら栽培する。	- 作物の成長を楽しみながら、目的意識を持ち、意欲的に取り組む。 - 身近な人と力を合わせて活動に取り組む。
（2） 探究・提案・発信型学習の具体的な手立て			
探究型の学び		提案型の学び	発信型の学び
- 地域の農産物について知る。 - より良い栽培方法や作業工程、成長過程での気づき（疑問）について調べ、調べたことを活用し、意欲的に観察する。		- 活動を通しての結果や発見を、今までの観察記録をもとに、自分なりに分析・整理しまとめる。 - グループで協力しながら収穫祭に向けてメニューを考え、準備する。	全校での収穫祭を通して、地域の良さや採れた作物のおいしさについて実感し合い、感想等を交流する。
（3） 単元の指導と評価の計画（全20時間）			
時間	探究提案発信	学習課題（◆） 主な学習活動（○）	評価の観点【 】 評価規準
1 2	探 究	◆課題の設定 ○上美生の農産物について知る。 ○植えるものを決める。 ○縦割り班ごとに計画を立てる。	●育てたい作物について考え、栽培意欲を持つことができる。【思・判・表】
3 4	探 究	◆課題解決・見通す ○育て方を調べる。「Chromebook の活用」 ○作物を植える。	●全体を見通し、必要な事柄を取り入れた計画を立てている。【思・判・表】
6 ～ 9	探 究	◆課題解決・調べる ○作物を育て、観察し、記録する。 ○計画の振り返り。 「Chromebook の活用」	●作物の成長について観察してわかったことを記録することができる。（知・技） ●成長過程を楽しみながら栽培活動に取り組んでいる。【主体的に学習に取り組む態度】
10 11		◆まとめる ○作物を収穫する計画を立てる。 ○調べた情報を整理する。	●収穫に向けて自分の役割を理解し、活動に見通しを持てている。【思・判・表】 ●記録と情報を分析し、合わせて考えることができる。【知・技】
12 ～ 14		◆まとめる ○作物を収穫する。 ○調理の計画を立てる。	●みんなと協力し合い、作物の収穫に意欲的に取り組んでいる。【主体的に学習に取り組む態度】 ●作物に適した調理法を考え、状況に応じた計画を立てることができる。【知・技】
15 ～ 17	提 案	◆まとめる ○作物を調理する。 ○活動のふり返しをする。	●友達と協力し合い、活動を見通しながら意欲的に取り組んでいる。【主体的に学習に取り組む態度】 ●自分の取組をふり返し、良かった点や反省点を考え、まとめている。【思・判・表】
18 ～ 19	提 案	◆伝える ○発表に向けて準備する。 ○発表会を行う。 「Chromebook の活用」	●「伝えたいこと」や「わかりやすい伝え方」を考えている。 ●友達の発表をしっかりと聴き、考えている。【思考・判断・表現】 ●友達と協力し、発表に向けて意欲的に取り組んでいる。【主体的に学習に取り組む態度】
20	探 究	◆振り返り ○活動をふり返し、次年度の取組を考える。	●達成できたことなどをふり返ることができる。【思考・判断・表現】 ●ふり返しをもとに次年度への課題を見つけている。【主体的に学習に取り組む態度】

めむろ未来学（総合的な学習の時間）				単元指導計画	
単 元 名			学校名	上美生中学校	
人はなぜ働くのか（職場体験）			学 年	2 学年	
			生徒数	7 名	
			授業者	担任・副担任	
（１） 単元の目標					
知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
・収集した情報を適切に分類し、わかりやすい方法で表すことができる。 ・働くことの意味について、収入を得るため以外にも、自分自身や他人のためになっていること、地域社会のためになっていることに気づく。 ・働くことの意味を考える学習が、将来の職業選択のみならず、今後の自分自身の生き方に深く関わっていることを理解する。		・働くことの意味について、自分たちの考えと実際に働いている人々との考えの違いから、自分自身で課題を設定し、見通しをもつことができる。 ・相手や目的に応じて自分自身の考えをまとめ、適切な方法で表現することができる。 ・他者に自分の考えが伝わるよう、目的に合わせて情報を分類したり、効果を意識して表現方法を組み合わせたりすることができる。		・仕事と自分との関わりに関心を持ち、働くことについて積極的に考えようとする。 ・課題解決に向けて見通しを持ち、粘り強く取り組み、自身の活動を振り返りながら次時の活動に生かそうとする。 ・働くことへの関心を高め、今後の学習や生活のあり方を積極的に考えようとする。	
（２） 探究・提案・発信型学びの具体的な手立て					
探究型の学び		提案型の学び		発信型の学び	
・地域で働く職業人の講話やインタビューをもとに、働くことの意味を探究する。		・職業人の講話やインタビュー、職場体験を通して自身の職業観を深め、将来の職業をイメージし、今後どのような社会人になりたいか、どのように生きたいか、自分の考えをまとめる。		・職場体験を通して記録したことを整理・分析し、プレゼンテーションソフトを利用してまとめ、発表する。	
（３） 単元の指導と評価の計画（全20時間）					
時間	探 究 提 案 発 信	学習課題（◆） 主な学習活動（○）		評価の観点【 】 評価規準	
1	探 究	◆働くことについて考えよう。 ○キャリアパスポートを使い、興味がある職業とその理由、人はなぜ働くのか、自分は何のために働きたいかを考え、まとめる。		【態度】 ①仕事と自分との関わりに関心を持ち、働くことについて積極的に考えようとしている。	
2・3	提 案	◆職業人の講話から働く意味を考え、職場体験学習のテーマを決めよう。 ○地域の職業人の講話やインタビューを通して職業観を深め、職場体験学習を通して学びたいテーマを決める。		【思・判・表】 ①働くことの意味について、自分たちの考えと実際に働いている人々との考えの違いから、自分自身で課題を設定し、見通しをもっている。	

4 ～ 7		◆職場体験に向けて準備を進めよう。 ○職場体験学習を行う事業所を決定し、事業所について Chromebook を使い調査する。 ○キャリアパスポートにまとめた今現在の働くことへの考えなどをもとに、事業所へ提出する履歴書を作成する。 ○当日に向けてマナー講習を行う。	【知・技】 ①収集した情報を適切に分類し、わかりやすい方法で表している。 【態度】 ②課題解決に向けて見通しをもち、粘り強く取り組み、自身の活動を振り返りながら次時の活動に生かそうとしている。
8～ 13	探 究	◆事業所で職業体験をしよう。 ○職場体験を行い、事業所の方へのインタビューや、体験から得た情報、自分が感じたことを報告書にまとめる。	【知・技】 ②働くことの意味について、収入を得るため以外にも、自分自身や他人のためになっていること、地域社会のためになっていることに気づいている。
14		◆事業所に礼状を送ろう。 ○体験を通して働くことについてどのような考えをもち、どのような体験や話が印象に残ったかを振り返り、礼状を書く。	【思・判・表】 ②相手や目的に応じて自分自身の考えをまとめ、適切な方法で表現している。
15～ 19	発 信	◆職場体験学習についてまとめ、発信しよう。 ○事業所の方へのインタビューから得た情報や、体験を通し感じたことを整理・分析する。 ○Chromebook を活用し、Google のスライド機能でまとめ、報告会で発表する。	【思・判・表】 ③他者に自分の考えが伝わるよう、目的に合わせて情報を分類したり、効果を意識して表現方法を組み合わせたりしている。
20	提 案	◆学習を振り返り、働くことについての自分の考えをまとめよう。 ○職業人の講話や職場体験学習、報告会でのクラスメイトの発表などから得たことをもとに、キャリアパスポートに将来どのような社会人になりたいか、どのように生きたいか、自分の考えをまとめる。	【知・技】 ③働くことの意味を考える学習が、将来の職業選択のみならず、今後の自分自身の生き方に深く関わっていることを理解している。 【態度】 ③働くことへの関心を高め、今後の学習や生活のあり方を積極的に考えようとしている。

めむろ未来学（総合的な学習の時間） 単元指導計画			
単 元 名		学校名	上美生中学校
芽室町の農業を知る		学 年	全学年
		生徒数	20名
		授業者	担任・副担任
（１） 単元の目標			
知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
- 芽室町の農業の特徴や主な生産物、地産地消の考え方について理解する。 - 収穫体験を通じて農業への理解を深め、芽室町の農業が食を支え、地域を支えていることに気づく。		- 芽室町で行われている農業について、自分たちの考えと実際に働いている人々との考えの違いから、自分自身で課題を設定し、見通しをもつことができる。 - 目的に合わせて情報を分類したり、効果を意識して表現方法を組み合わせたりすることができる。	- 芽室町の基幹産業である農業について関心をもち、自身の生活との関わりについて積極的に考えようとする。 - 芽室町を支える農業について、学んだことの中から伝えたいことを明確にして、パンフレットを作成しようとする。
（２） 探究・提案・発信型学習の具体的な手立て			
探究型の学び		提案型の学び	発信型の学び
長芋掘り体験を通して、芽室町の特産物がどのように生産されているのかを理解し、農業の果たす役割や地域との関わりについて探究する。		地域の農業家の講話を聞き、パンフレットを作成する際のテーマを決めることができる。	農業家の講話や長芋掘り体験を通して新たに学んだことを整理・分析し、Chromebook を利用してパンフレットにまとめる。
（３） 単元の指導と評価の計画（全6時間）			
時間	探 究 提 案 発 信	学習課題（◆） 主な学習活動（○）	評価の観点【 】 評価規準
1・2	探 究 提 案	◆芽室町の農業について知ろう。 ○芽室町の農業家による講話を聞き、農業が果たす役割や生活との関わり、地産地消への理解を深める。 ○講話をもとに、パンフレットにまとめる際のテーマを決め、長芋掘り体験時に質問する内容を考える。	【知・技】 - 芽室町の農業の特徴や主な生産物、地産地消の考え方について理解している。 【思・判・表】 - 芽室町で行われている農業について、自分たちの考えと実際に働いている人々との考えの違いから、自分自身で課題を設定し、見通しをもっている。 【態度】 - 芽室町の基幹産業である農業について関心をもち、自身の生活との関わりについて積極的に考えようとしている。
3・4	探 究	◆農業についての理解を深めよう。 ○長芋掘り体験から収穫までの流れや収穫方法の種類について学び、収穫された作物がどのようにして食卓に届くのかを理解する。	【知・技】 収穫体験を通じて農業への理解を深め、芽室町の農業が食を支え、地域を支えていることに気づいている。

5 ・ 6	発 信	◆芽室町の農業についてまとめ、発信しよう。 ○農業家の講話を聞いて学んだことや、長芋掘り体験を通して感じたことを整理・分析する。 ○Chromebook を活用し、ドキュメントを用いてまとめる。 ※パンフレットは遠足、宿泊学習、修学旅行先で地域の方に配布する。	【思・判・表】 ・目的に合わせて情報を分類したり、効果を意識して表現方法を組み合わせたりしている。 【態度】 ・芽室町を支える農業について、学んだことの中から伝えたいことを明確にして、パンフレットを作成しようとしている。
-------------	-----	--	--

4 芽室西小・芽室西中エリア

○「めむろ未来学」全体計画

芽室西小・芽室西中編

○単元計画

- ・おとしよりとふれあおう
- ・芋掘り体験を通して、芽室の農業を学ぼう



「めむろ未来学」全体計画（令和4年度）

芽室西小・芽室西中編

めむろ未来学は、ふるさと「めむろ」の未来を拓く人を育む 探究・提案・発信型の学びを、小・中9ヶ年ですすめるものです

		夢育関連の単元			郷育関連の単元							
		小学校第1学年	小学校第2学年	小学校第3学年	小学校第4学年	小学校第5学年	小学校第6学年	中学校第1学年	中学校第2学年	中学校第3学年		
単元（題材）名	教科	国語	学校のことを伝えよう(国語)	町の「すてき」をつたえます(国語)10月	クラスの「生き物ブック」を作ろう(国語)6月	リーフレットで知らせよう(国語)6月	伝わるように構成を考えよう(国語)7月		読み手を意識して報告文を考える(国語)2月	記事を書く(国語)11月	構成を考えて主張する(国語)6月	
			思い出のアルバム(国語)2月	これまでこれから(国語)3月	町の行事について発表しよう(国語)12月	新聞を作ろう(国語)8月	「町じまん」をすいせんしよう(国語)6・7月		銀のしずく降る降る(国語)3月			
		社会生活				自分の成長を振り返って(国語)2月	「考えを広げるために、立場を決めて話し合おう」(国語)10月		私たちの生活と政治役場・町議会(社会)4月			
			きせつとなかよし(生活)春夏秋冬	町がだいすきたんけんたい(生活)5月	町の様子(めむろ学)5・6月		低い土地の暮らし(社会)5月					
		理科		としょかんをたんけんしよう(生活)7月	農家の仕事工場の仕事(めむろ学)7・8・9月	水はどこから(めむろ学)5・6月	国土の気候の特色(社会)5月		植物の特徴と分類(理科)8月	天気の変化と大気の動き(理科)10月		
				まちのくふうをさがそう(生活)9月	店ではたらく人(めむろ学)10・11月	ゴミの処理と利用(めむろ学)6・7月	あたたかい土地のくらし寒い土地のくらし(社会)6月					「土地のつくり」(理科)10月
		図工		しごとにチャレンジしよう(生活)10月	火事から仕事を守る(めむろ学)11・12月	地震から暮らしを守る(めむろ学)9月	くらしを支える食糧生産(社会)6月					
				町の人にもつたえよう(生活)10月	事故や事件から暮らしを守る(めむろ学)1・2月	残したいもの、伝えたいもの(めむろ学)10・11月	これからの食糧生産とわたしたち(社会)9月	「共に生きる地域での生活」(家庭)1月	地域の食文化と郷土料理(家庭)11月	ミニ英語新聞を作ろう・あなたの夢を語ろう(英語)7月	Why do We Have to Work?(英語)11月	
		その他		郵便局をたんけんしよう(生活)12月	町の様子の移り変わり(めむろ学)2・3月	地域の尽きた先人(めむろ学)1月	情報を生かす産業(社会)1月		データの整理と分析(数学)2月		形に着目して図形の性質を調べよう(数学)10月	
				氷 灯 夜(図工)2月								植物の発芽や成長(理科)5月
	総合的な学習食農教育		消防車の絵をかこう(図工)6月			ねんすまいたウン(図工)1月	写生会(図工)6月	花から実へ(理科)8月				
			食農体験 ※芽室まるかじりプロジェクト(3年生)							食農体験11月		
		栄養教諭食育指導(生活)8・9月		栄養教諭食育指導(総合)11・12月					栄養教諭食育指導(総合)			
		西小交流まつり(生活)2月		西小交流まつり(総合)2月					自然体験学習(総合)7月	職場体験学習(総合)10月	進路学習	
		※雪山体験学習(生活)2月		雪山体験学習(総合)2月		雪山体験学習(総合)2月			今度は私の番だ(道徳)2月	修学旅行(総合)8月		
				おとしよりとふれあおう 認知症サポーター養成講座(総合)11月			修学旅行(総合)11月	本が泣いてます(道徳)2月	大切なものは何?(道徳)6月			
		みんなだれかに(道徳)7月	ひかり小学校のじまはね(道徳)4月	伝統文化の尊重(道徳)11・3月	伝統文化の尊重(道徳)8・10月	伝統文化の尊重(道徳)12・1月	うちら「ネコの手ボランティア」(道徳)4月	ぼくのふるさと(道徳)11月	冬の使者マガン(道徳)11月	高く遠い夢(道徳)5月		
		みつけてみよう(道徳)11月	広いせかいのたくさんの人たちと(道徳)7月	国や郷土を愛する態度(道徳)1月			白神山地(道徳)5月	郷土を掘る(道徳)6月	住みよい社会に(道徳)10月	島唄の心を伝えたい(道徳)8月		
		特別活動		今ぼくにできることなら(道徳)2月	「ふるさといいとこがし」(道徳)3月	「ふるさとを守ったダイチョウ」(道徳)10月	親から子へ、そして孫へ(道徳)1月	新しい日本に～龍馬の心～(道徳)11月	故郷の雅 歌詞の心(道徳)2月	祭りの夜(道徳)8月	社会からの無言の賞賛を感じる完成(道徳11月)	
										楽寿号に乗って(道徳)6月	心でいただく伝統の味(道徳)9月	

生活科・総合的な学習の時間等で身に付けたい力	課題設定		身近な人々・社会・自然などとの関わりや学習したことなどに対する、気づき・興味から課題を選択・設定することができる	身近な人々・社会・自然などに関わり、疑問を持ったり興味を広げたりして、課題を選択・設定することができる	身近な人々・社会・自然などに関わりの範囲を広げる中で抱いた、疑問や興味に対して、目的・対象・方法を明確にして、実生活に結び付くような、課題を選択・設定することができる	様々な人々・社会・自然などに関わりの中から問題を見つけ、目的・対象・方法を明確にして、実社会、実生活に結び付くような、課題を選択・設定することができる
	探究	知る	気づきや興味に応じて、身近な人に質問したり、本や図鑑を読んだりして情報を収集することができる	身近な人や施設でのインタビューや図書を利用するなどして、課題に沿った情報を収集することができる	課題意識を持って、ネットや書籍等を利用したり専門家に聞いたりして、必要な情報を収集・選択することができる	収集した情報を課題に結び付けたり、目的に応じて手段を選択し情報収集したりすることができる
		学び・発見	情報(気づきや思ったことなど)を出し合い、共通点や違いがあることや、分類したり比べたりすることのよさに気付くことができる	情報(気づきや思ったことなど)を出し合い、話し合いの中で共通や違いがあることに気付いたり、比較や分類をしたりすることができる	思考ツールなど、提示された方法を用い、情報を分類、比較、結合させるなどして分析することができる	思考ツールなど適切な方法を選択し、情報を分類、比較、結合するなどして、関連付けたり体系化したりすることができる
	発信・提案		活動を通して得た気づきや学んだことを順序立てて考えることができる。分かりやすい方法でまとめ、伝え合うことができる	体験や調査に基づいて、目的に応じた方法で自分の思いや考えをまとめることができる。大切なことが相手に伝わるよう工夫して伝え合うことができる	相手や場・目的に応じ自分の思いや考えを論理的にまとめることができる。まとめたことを適切な方法で伝え合い、思いや考えを広げることができる	相手や場・目的に応じ客観性のある根拠を示して自分の思いや考えを論理的にまとめることができる。まとめたことを適切な方法で伝え合い、思いや考えを広げることができる

全ての土台となる力	話す・聞く力	・紹介や説明、報告など伝えたいことを話したり、それらを聞いて声に出して確かめたり感想を述べたりできる活動	・説明や報告など調べたことを話したり、それらを聞いたりする活動 ・質問するなどして情報を集めたり、それらを発表したりする活動	・意見や提案など自分の考えを話したり、それらを聞いたりする活動 ・インタビューなどをして必要な情報を集めたり、それらを発表したりする活動	・紹介や報告など伝えたいことを話したり、それらを聞いて質問したり意見などを述べたりする活動	・説明や提案など伝えたいことを話したり、それらを聞いて質問や助言などをしたりする活動	・提案や主張など自分の考えを話したり、それらを聞いて質問したり評価などを述べたりする活動
	対話する力	・尋ねたり応答したりするなどして、少人数で話し合う活動	・互いの考えを伝えるなどして、グループや学級全体で話し合う活動	・それぞれの立場から考えを伝えるなどして話し合う活動	・互いの考えを伝えるなどして、少人数で話し合う活動	・それぞれの立場から考えを伝えるなどして、議論や討論をする活動	・互いの考えを生かしながら議論や討論をする活動
	ICT活用力	GIGAスクール構想の中で、ふるさとめむろへの愛着と誇りや夢に挑戦する態度を育む活動					

GIGAスクール構想の中で、ふるさとめむろへの愛着と誇りや夢に挑戦する態度を育む活動

めむろ未来学（総合的な学習の時間）			単元指導計画	
単 元 名			学校名	芽室西小学校
おとしよりとふれあおう			学 年	3年
			児童数	51人
			授業者	担任・講師
（１） 単元の目標				
知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
・「福祉」とは、どんなことなのかを理解する。 ・「認知症」について理解する。		・自分たちと体の不自由な人たちの違いについて考え、今、自分たちにできることはどんなことなのかを考える。		・お年寄りや体の不自由な人たちに関心をもち、自分にできることを積極的に考えようとする。 ・自分が学んだことを家族や他学年の児童に伝えようとしている。
（２） 探究・提案・発信型学びの具体的な手立て				
探究型の学び		提案型の学び		発信型の学び
・いろいろな人の考えを認め、みんなが自分らしくいきいきとくらししていくためには、どんなことができるかを探究する。		・りらく訪問や認知症サポーター講座から、知っていれば自分たちでもできることがあるということを提案する。		・りらく訪問や認知症サポーター講座から、学んだことや自分たちができることをChromebookを使ってまとめ、発表する。
（３） 単元の指導と評価の計画（全22時間）				
時間	探究 提案 発信	学習課題（◆） 主な学習活動（○）		評価の観点【 】 評価規準
1 ・ 2 ・ 3	探 究	◆ふくしについて考えよう。 ○自分が知っていることを発表する。 ○ちがいについて考え、ふくしとはどういうことなのかを考え、理解する。		【知・技】【思・判・表】 ・ちがいや相手の考えを認めることができる。 ・ふくしの意味について理解できる。（ワークシート）
4	提 案	◆不自由について考え、自分たちができることを考えよう。 ○自分たちの体と不自由な体の違いについて考え、不自由な人にどんなことができるかを考えよう。		【思・判・表】 ・自分の体が不自由な体になるとどうなるのかを考え、自分ができないことはないか考えることができる。 （ワークシート）
5 ・ 6 ・ 7 ・ 8	探 究	◆りらく訪問の準備をしよう。 ○交流で発表する内容を決める。 ○グループごとに発表の練習をする。 ○質問の内容を考える。		【思・判・表】【態度】 ・相手を意識した発表内容や質問を考えようとしている。 ・グループで協力しながら練習をすることができる。 （ワークシート）

9 ・ 10 ・ 11	探 究	◆りらく訪問をしよう。 ○グループごとに発表する。 ○グループごとにお話しをする。 ○施設の様子について見学し、気がついたことを記録する。	【思・判・表】【態度】 ・自分から施設利用者さんに話しかけようとしている。 ・気がついたことを記録することができる。 (ワークシート)
12 ・ 13 ・ 14	探 究 発 信	◆認知症サポーター講座 *講師 ○認知症について理解する。 ○認知症の方やお年寄りに接するときに気を付けることができる。 ○認知症について学んだことをお家の人に伝える。	【知・技】【態度】 ・講師の話を意欲的に聞こうとしている。 ・認知症について理解できたか。 ・学んだことをお家の人に伝えようとしているか。 (ワークシート)
15 ・ 16	発 信	◆まとめよう。 ○体験して学んだことをまとめる。 ○自分が学んだことを家族や他学年の児童にも知ってもらえるように、まとめたものを初表する。 Chromebook の活用	【思・判・表】【態度】 ・体験を通して、これからお年寄りや体の不自由な人とのように関わっていけばいいのか。考えをまとめることができる。 ・Chromebook を活用しながらまとめることができる。

めむろ未来学（総合的な学習の時間） 単元指導計画			
単 元 名		学校名	芽室西中学校
芋掘り体験を通して、芽室の農業について学ぼう（食農体験）		学 年	1 年
		生徒数	51 名
		授業者	担任・副担任
（１） 単元の目標			
知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
- 芽室町の農業の特徴や現状について理解する。 - 作物の特性についての知識が身についている。		- 芽室町の農業の特徴と課題を見だし、情報をあつめ整理し考えることができる。 - わかりやすくまとめ、自分の考えを表現することができる。	- 芽室町の農業の特徴を理解しようとしている。 - 現状と今後の活用について、地域産業と結びつけて考えようとしている。
（２） 探究・提案・発信型学習の具体的な手立て			
探究型の学び		提案型の学び	発信型の学び
- 芽室ではどのような農作物が作られているのか。 - 長芋はどのように掘られるのか。		芽室町の農産物の良さを知ってもらうには、どのような方法が効果的か	芽室町の農産物の良さを知ってもらう。
（３） 単元の指導と評価の計画（全7時間）			
時間	探 究 提 案 発 信	学習課題（◆） 主な学習活動（○）	評価の観点【 】 評価規準
1	探 究	◆芽室町の農業について調べよう ○Chromebook を活用し、芽室町の農業や作物について調べる。	芽室町の農業や作物生産について自分で課題を設定し、調べることができた【知識・技能】
2 ～ 4	探 究	◆芋掘りを通して、農業に触れよう ○実際に芋掘りを体験し、芽室町の農業の特徴と課題について考える。	芽室町の農業の特徴と今後の課題、他の地域産業との関連について考えることができた【主体的な学習】
5 ～ 6	提 案	◆体験を通し、今後の農業について考える ○ Chromebook を活用し、体験を通しての感想をまとめと考察をグループでまとめる。	体験を通して学んだことやこれからの地域産業に生かせる方法を考え、まとめる。 【思考】
7	発 信	◆考えを交流しよう ○グループごとに発表し、交流する。	自分たちの考えや思いを効果的に発表することができた。【判断 表現】

V 食農教育

めむろ未来学と「食農教育」の関わり

近年「食農教育」への社会的な関心が高まっています。食料を供給する農業の機能・役割を、農作業体験などの具体的な実践を通じて理解し、自らの食生活を捉え直すことを目的としています。

芽室町では、めむろ未来学で行う様々な教育活動のひとつとして、地域資源を活用した「食農教育」を推進します。義務教育9年間で、農業に対する理解や郷土愛を育み、「私のふるさと芽室町はこのような町です。」と、自信を持って語れる子どもたちを育成します。

「食農教育」とは

食 育 + **農 業** = **食 農 教 育**

「食農教育」とは、人が生きていくために必要な「食」と、その食料を生産する農業「農」についての学習を知識だけでなく、子どもたちが体験等をとおして五感でとらえ一体的に進めるものです。食べ物や食材が、どのように育てられ流通して食卓に届けられたのかを知るだけでなく、自分で栽培・飼育することで自己とのかかわりから「食」と「農」を考えることを大切にしたい教育です。

《学習領域》

農業の
学習

食に関する
指導

「食農教育」では、野菜作りなどの農作業、収穫された農作物の加工、調理などを児童生徒が体験し、「食」と「農」について正しい知識を学ぶことが大切です。

農業地帯に立地する芽室町の小中学校では、地元農家と学校が連携して、農業という地域資源を活用した特色ある教育を行います。農家も農作業体験などで子ども達と直接交流することができ、農業の意義や役割を積極的に伝えつつ、地域で子どもたちの成長を育んでいます。

また、栄養教諭の指導において、「食」の大切さを学び、「食」と「農」をつなげています。

《実施内容の例》

・農業体験「まるかじりプロジェクト」(圃場学習) P. IV-4-3

日常的に農産物に触れる機会は、調理されてお皿の上に乗った状態がほとんどです。私たちの食を支える産業である農業を知るために畑等で「植え付け」から「収穫」までを体験することで、農業の現場での様々な苦勞を知り、感謝の気持ちや豊かな想像力を育むことができます。



・JA青年部出前授業(学校農園) P. IV-2-2

JA めむろの青年部の方々が来校して、農業の指導してくれる出前授業があります。「畑おこし」から「収穫」にいたるまで、専門的な指導をしてくれます。児童生徒は本格的な農作業を体験することができます。



・長芋掘り体験 P. IV-4-4

地元の農家に協力を得て、長芋掘り体験を行っています。芽室町ではどのような農作物が作られているか、長芋はどのように育ち、掘られるのか、体験を通して芽室町の農業の特徴を理解し地域産業を学びます。



・地域の農と食を繋げる「地産地消」 P. V-9

採れたて新鮮で栄養たっぷりな、芽室町で生産された農産物をその地域で消費する。地産地消を行うことは、生産された場所から食卓までの距離が短く私たちの大切な地球環境への負荷も小さくなり、地域の農業の活性化にも繋がります。



・めむろまるごと給食(食に関する指導) P. V-11

「めむろまるごと給食」は、児童生徒に芽室の農業を知ってもらうため、すべて芽室産の食材を使用しており、使用する食材についての豆知識などを掲載した“しおり”を配布しています。

また、栄養教諭による給食についての説明や「食に関する指導」が行われています。



芽室まるかじりプロジェクト

1 目的

私たちの食を支える産業である農業を知るために圃場で「植え付け」から「収穫」までを体験することで、農業の現場での様々な苦勞を知り、「食」と「農」について学びを深めます。

2 事業概要

活動名 「芽室まるかじりプロジェクト」 通称「がぶりのじかん」

活動計画 小学校～総合的な学習の時間（12 コマ）事前学習 1 時間、圃場学習 10 時間、事後学習 1 時間

(1) 内容

① ミッションⅠ 事前学習 1コマ

- ・内 容：がぶりのじかんの説明、農作物について紹介
- ・講師人数：2～3人（栄養教諭、農林課）
- ・場 所：各小学校
- ・日程：4月27日・28日

② ミッションⅡ 圃場学習 4コマ（外部講師）

- ・内 容：芽室町の農業について、畑づくり（マルチ張り・施肥等）、種まき。
- ・講師人数：8～9人（1人20人の指導を想定）
- ・場 所：美生の圃場
- ・授業の時間帯：午前中
- ・日程：5月11日（火）

両日とも雨天の場合、校内での学習。1コマ

③ ミッションⅢ 圃場学習 3コマ（外部講師）

- ・内 容：草取り、間引き等の管理作業、農業機械見学、圃場見学。
- ・講師人数：8～9人（1人20人の指導を想定）
- ・場 所：美生の圃場、講師の圃場等
- ・授業の時間帯：午前中
- ・日程：6月15日（火）

両日とも雨天の場合、校内での学習。1コマ

④ ミッションⅣ 圃場学習 3コマ（外部講師）

- ・内 容：収穫作業、お持ち帰り、まるごと給食での収穫物使用。
- ・講師人数：8～9人（1人20人の指導を想定）
- ・場 所：美生の圃場、講師の圃場等
- ・授業の時間帯：午前中
- ・日程：8月30日（月）

両日とも雨天の場合、校内での学習。1コマ

⑤ ミッションⅤ 事後学習 9月中 1コマ

- ・内 容：食農教育の振り返り、芽室の農業についてもっと知ってもらうためのアイデアワークショップ
- ・場 所：各小学校
- ・日 程：9月

3 活動概要

(1) 活動場所

圃場学習…美生圃場

事後学習…各小学校

コマ時間…1コマ 45分

(2) 生徒人数

芽室小学校3年生：110人を想定

芽室西小学校3年生：48人を想定

(3) 作物

枝豆・スイートコーン・馬鈴薯

- ・枝豆 1600粒（1人5株を想定（2粒播きの為1人10粒））
- ・スイートコーン 2400粒（1人7～8本を想定（2粒播きの為1人15粒））
- ・馬鈴薯〈とうや〉で 80kg

選定理由 ①枝豆…圃場で作付可能な野菜類で芽室町において一番目に作付が多い

②スイートコーン…芽室町代表作物

③馬鈴薯…畑作4品の一つ

(4) 各授業の内容

ミッションⅡ 人力とトラクターによる畑おこし・マルチ張り作業の比較。

ミッションⅢ 管理作業、スイートコーンの間引き、ドローンによる生育管理の様子又は機械の見学、スプレイヤによる防除の様子又は機械の見学

ミッションⅣ 各作物の収穫、ハーベストによる収穫、収穫物の持ち帰り

(5) 圃場への移動時間等

各小学校往復 15分、バス乗りこみ 10分、ブーツカバー付外し 10分 合計 35分

(6) 関係機関の役割

農 林 課 事務局（教材・道具等の準備、講師との調整）

教育委員会 事務局（バスの手配、教員との調整）

各小学校教員 圃場学習の進行役・活動のサポート

講師（農業者） 圃場学習での説明や指導等・農業機械や講師圃場の見学

第1回 がぶりのじかん 指導略案

[illegible]

展 開 ② 30分	5 種うえ ① 馬鈴薯のうえ方をレクチャー。たねいもを受け取り、並んでいく。植えて、土をかける。列を移動してもう一度行う。 ② 枝豆を種を取りに行く。受け取り並ぶ。植えて土をかける。列を移動して、もう一度行う。 ③ スイートコーンの種を取りに行く。受け取り並ぶ。植えて土をかける。列を移動してあと2回行う。	種 種うえ方説明画用紙
まとめ 10分	6 質問とお礼 児童から質問を受け付け、代表児童からお礼を述べる。 7 ブーツカバーを外し、バス乗車	事前に質問例示と代表児童選出、お礼文練習 ゴミ袋

令和3年度 がぶりのじかん 学習アンケート ☆事前☆

あてはまる項目や数字に○をつけてください

1 「がぶりのじかん」は楽しみですか

とても楽しみ ←	普通	→ あまり楽しみではない		
5	4	3	2	1

2 芽室町が好きですか

すごく好き ←	普通	→ あまり好きでない		
5	4	3	2	1

3 自分は農業について知っていると思いますか

知っている ←	普通	→ あまり知らない		
5	4	3	2	1

4 将来、芽室町で住みたいと思いますか

とても思う ←	普通	→ あまり思わない		
5	4	3	2	1

5 農家の方に聞きたいことをお書きください

令和3年度 食農教育 学習アンケート ☆事後☆

あてはまる項目や数字に○をつけてください

1 「がぶりのじかん」は楽しかったですか

とても楽しかった ←		普通	→	あまり楽しなかった
5	4	3	2	1

2 芽室町が好きですか

すごく好き ←		普通	→	あまり好きでない
5	4	3	2	1

3 自分は農業について知っていると思いますか

知っている ←		普通	→	あまり知らない
5	4	3	2	1

4 将来、芽室町で住みたいと思いますか

とても思う ←		普通	→	あまり思わない
5	4	3	2	1

5 今日のがぶりのじかんの感想をお書きください。

第3学年 社会科学習指導案

1. 単元名 「はたらく人とわたしたちの暮らし」 2 店ではたらく人

2. 本時の学習

(1) 本時の目標

スーパーマーケットは、お客さんに来てもらうためにどんな工夫をしているのかを予想し、見学の見通しをもてるようにする。

(2) 本時の展開

段階時間	学習活動（児童の活動・思い）	指導のポイント	□評価 ■留意点
つかむ 5分	・前時までの確認をする。 ・スーパーマーケットに行く人が多い。 ・おうちの人は、いろいろな工夫をして買い物をしている。 ・本時のめあてを確認する。	・調べ活動の結果を振り返ることで、課題の予想を立てやすくする。	
追究する 20分	スーパーマーケットは、お客さんに来てもらうためにどんな工夫をしているのか、予想しよう。 ・チラシからスーパーマーケットの工夫を見つける。 ・目立つ色で値段を表示している。 ・カラー写真でわかりやすい。 ・安売りをしている。 ・ポイント5倍などでアピールしている。 ・芽室町産の野菜など安心安全を強調している。 ・チラシのたまごの値段に着目させ、問題を提示する。	・スーパーマーケットのチラシを使って、売る側の工夫を考えていくことを伝え、チラシを配布する。 ・地産地消にも触れる。	■チラシから、販売者の工夫を多く気づかせたい。 □たくさんのお客さんに来てもらうために、どんな工夫をしているのか考えることができたか。 【思・判・表】

15分 ま と め る 5分	どうして店長さんは、売り上げがへるのに、たまごを安く売ろう。 ・たまごを安く売る理由について考える。 ・たくさん売りたいから ・たくさんお客さんが来るから ・お客さんを喜ばせるため ・他の物も買ってもらえそうだから ・全体で交流し、まとめる。 店長さんは、たくさんの人に、たくさん買ってほしいから、たまごを安く売ったりするくふうをしている。 ・学習を振り返り、次時の学習を確認する。	・個人で予想を立てた後、グループで交流させたい。 ・子どもたちの言葉から、まとめを引き出すようにしたい。 ・自分が買い物に行ったときや家の人にインタビューしたことを思い出しながら、チラシ以外の工夫を予想してみる。 ・次回はチラシ以外の工夫を予想することを知らせ、意欲付けをする。	(ノート、発言) ☐進んで発言できたか。【主】(発言) ☐店側の工夫を考え、見学の見通しをもつことができたか。 【思・判・表】(ノート、発言)
---	---	--	--

小学校第6学年指導案

- 1 題材名 「芽室町の農業について知ろう」
- 2 題材の設定 近年、農業の教育力を生かした食農教育を提供することが農業のまちの役割として注目されている。芽室町の基幹産業である農業について理解を深め、授業からだけでなく日々の給食からも芽室町ではどのような野菜が育てられているのかを意識することができるようになるためにこの題材を設定した。また、生産者がどのような想いで野菜を作っているのかを知ることにより食べ物への感謝の気持ちや、生産者への感謝の気持ちをもつことができると考えこの題材を設定した。
- 3 指導目標
 - ・芽室町の農産物について理解を深める。
 - ・給食は身近な人々の努力から出来ていることを理解し、食べ物への感謝の気持ち、生産者（給食に携わる人）への感謝の気持ちをもつ。
- 4 食育の視点
 - ・各地域の産物、食文化や食に関わる歴史等を理解し、尊重する心をもつ（食文化）
 - ・食べ物を大事にし、食料の生産等に関わる人々へ感謝する心をもつ（感謝の心）
- 5 準備 パワーポイント、ワークシート

6 本時の展開

	○学習活動	□学習支援のポイント	*評価 ◆資料
導入 10分	○十勝の食料自給率について知る。	□世界の食料自給率の数値だけを見せ、何に関する値なのかを考えさせる。正解を発表し、日本、北海道、十勝を比較したグラフを見せる。十勝は食料自給率が高いことを知らせる。	◆パワーポイント
	芽室町の農業について知ろう		
展開 25分	○芽室町で育てられている野菜について知る。	□芽室町で育てられている野菜で耕地面積トップ5を考えさせる。 1位とうもろこし 2位えだまめ 3位長芋 4位さやいんげん 5位にんじん 芽室町で生産されている野菜の中で生産量が日本でトップクラスの野菜を紹介する。 (とうもろこし、じゃがいもなど)	◆パワーポイント ◆ワークシート *芽室町の農産物について理解を深め ことができたか
	○給食の中から芽室産の野菜を見つける。	□給食の写真を何枚か見せ、その中から芽室産の野菜を探させる。給食でも芽室産の野菜が多く使用されていることを知らせる。	◆パワーポイント ◆ワークシート

展 開	○給食で地元の野菜を多く使用する理由について考える。 ○生産者がどんな思いで作っているかを知る。	□給食で地元の野菜を多く使用する理由について考えさせる。まるごと給食とも関連づけてその理由を知らせる。 □生産者の紹介をし、農業をされていてうれしいと思う時、大変だと感じるときについて農家さんの思いを知らせる。 生産者さんから預かった子供たちへのメッセージを読む。	◆パワーポイント ◆ワークシート
ま と め 10 分	○まとめ 今日の学習から分かったこと、感じたことを発表する。	□全体のまとめ 今日学んだことや、給食をつくるのに関わっている人への感謝の気持ちをワークシートに書かせる。	◆ワークシート * 給食は身近な人々の努力から出来ていることを理解し、食べ物への感謝の気持ち、生産者（給食に携わる人）への感謝の気持ちをもつことはできたか。

- 7 評価
- ・芽室町の農産物について理解を深めることができたか。
 - ・給食は身近な人々の努力から出来ていることを理解し、食べ物への感謝の気持ち、生産者（給食に携わる人）への感謝の気持ちをもつことができたか。

VI 地域素材一覧

【ひと】

内 容	団体等	問い合わせ先	備 考
戦争体験に関する授業講師 十勝の戦時中の状況 学校での戦争パネル展などの展示	ピースネットメモオロ 高橋 淨	教育委員会 生涯学習課 62-9730	町内の戦争体験者への聞き取りを行い「わたしの戦争体験記」を発行。 図書館でのパネル展や戦争体験を聞く会を開催。
芽室大火に関する授業講師	上美生 飯沼宏	教育委員会 生涯学習課 62-9730	
地元産食材を使用した家庭科調理実習	食の研究室「えびの会」 片桐和江	教育委員会 生涯学習課 62-9730	十勝産小麦を中心とした食の調理研究を 行っている。
芽室の農業に関する授業講師	なまら十勝野 小山勉	教育委員会 生涯学習課 62-9730	芽中で実績あり
芽室の観光に関する授業講師	芽室町観光物産協会 勝部正志	教育委員会 生涯学習課 62-9730	芽中で実績あり
昔の農業に関するお話 馬を使って農業していたころの話	美生 柳澤正弘	教育委員会 生涯学習課 62-9730	町民活動支援センターでパネル展、図書館講座の実施の実績あり。 ※教材作りに不安あり。
スマート農業に関する授業講師	北海道農業研究センター 佐藤 豪	教育委員会 生涯学習課 62-9730	北農研の出前授業にて対応可。
品質改良した作物が食卓に並ぶまでを テーマとした授業講師	北海道農業研究センター 佐藤 豪	教育委員会 生涯学習課 62-9730	北農研の出前授業にて対応可。
芽室のアイヌと歴史 アイヌのひとと暮らし 演奏の実演	田村精吾	教育委員会 生涯学習課 62-9730	図書館講座での実績あり。
十勝平野の成り立ち等に関する授業講師	十勝自然史研究会 平譚正勝	教育委員会 生涯学習課 62-9730	地質講座、自然観察会、講演会、体験 発表会、研修旅行を開催。
じゃがバス出前講座	芽室町役場政策推進課政策調整係	教育委員会 生涯学習課 62-9730	じゃがバスの乗り方を学ぶ。

内 容	団体等	問い合わせ先	備 考
芽室町の魅力に関する授業	芽室町役場魅力創造課魅力発信係	教育委員会 生涯学習課 6 2 - 9 7 3 0	芽室町の魅力発見、郷土愛について学ぶ。
「馬」を使った出前授業	NPO法人とかち馬文化を支える会 旋丸 巴	NPO法人とかち馬文化 を支える会 0155-67-2069	馬文化の継承、馬と通しての情操教育 (ばんばの歴史、馬とのふれあい)
地域素材を使ったピザづくり	株式会社 満寿屋商店 杉山 勝彦	株式会社 満寿屋商店 0155-58-4690	学校農園で収穫した作物を使っのピザづくり。 (出張ピザ窯でピザを焼く。)
食農教育地域講話	なまら十勝野 高道 豊	教育委員会 生涯学習課 6 2 - 9 7 3 0	食農に関する講師の方の実体験や思いを交えた講話
未来創造授業	ユアライフパートナーズ 商工会議所理事長 鈴木信宏	十勝教育局 義務教育指導班 2 6 - 9 2 4 1	
地域講話	芽室町役場 高齢者支援課 高谷真理子	芽室町役場 高齢者支援課 6 2 - 9 7 2 4	
認知症サポーター養成講座	芽室町役場高齢者支援課在宅支援係 山本かなこ	芽室町役場 高齢者支援課 6 2 - 9 7 2 4	
長芋掘り体験	駒井農場 鈴木農場	上美生中学校 6 6 - 2 0 1 9	本年度在籍生徒の保護者
柔道指導	芽室柔道少年団 田村さん	十勝柔道連盟	
上美生の歴史について	上美生地区老友会 岡崎栄太郎会長	上美生農村環境 改善センター 6 6 - 2 4 4 2	
救命救急講習	とかち広域消防事務組合 芽室消防署 消防課	救急救助係 6 2 - 2 8 2 1	「芽中の健康教育」の一環で、3年生が心肺蘇生法について 学び、AED講習を受ける。
そろばんの授業講師	ともみそろばん教室 久世智美	090-9437-4316	そろばん学習での講師(3, 4年生)

内 容	団体等	問い合わせ先	備 考
学校農園出前授業	J A めむろ青年部	芽室町西4条南1丁目1番地9 62-2311	
家庭科出前授業	芽室消費者協会 櫻井 香代	芽室消費者協会 62-9000	「生活を支えるお金と物」について（5，6年）

【もの】

内 容	施設等	問い合わせ先	備 考
芽室の開拓に携わった人々が、使用していた生活道具や農機具などの展示	ふるさと歴史館（ねんりん）	61-5454	見学者自らが資料を手にとり、道具の仕組みやはたらきを楽しみながら学ぶ。
スキー体験	めむろ新嵐山スカイパーク	65-2121	
歴史ある赤レンガ倉庫で地元の食材を地元で味わう場所	焼き肉K A G U R A	芽室町東2条1丁目1番地7 TEL：0155-62-8929 FAX：0155-62-8929	
芽室町の新鮮で安全な野菜を生産者が直接出品する	愛菜屋	芽室町東めむろ3条南1丁目1番地1 Tel.:0155-62-5315	
まちたんけん	芽室町町役場	芽室町東2条2丁目14 TEL：0155-62-9721 FAX：0155-62-4599	
育成牛の預託管理。乳牛約600頭が入牧しており、秋の下牧までの約半年間をここで過ごす。	嵐山牧場 （芽室町役場 農林課）	芽室町東2条2丁目14 TEL:0155-62-9725（直通）	

内 容	団体等	問い合わせ先	備 考
地域資源を活用し、地域振興・観光振興に寄与する事業	めむろワイナリー株式会社	芽室町中美生2線44番地3 TEL / FAX☎55-65-2077	
昭和45年に建設された東洋一とも言われる製糖大型工場	日本甜菜	芽室町東芽室基線 2 6 番地 62-3111	
地域の人々のために、知識と技術と思いやりを全ての行為に反映させ、心に寄り添う看護を提供	芽室町立病院	芽室町東4条3丁目5番地 Tel:62-2811 fax:62-5843	
屋内ゲートボール	芽室町健康プラザ	芽室町西 3 条 6 丁目 1 TEL:62－9966	
パン屋創業1938年、昔からの味を守り続けている	朝日商会	芽室町東1条3丁目18 62-2950	
十勝工場は、食卓に豊かな彩りを添えるチーズ・クリームの製造工場	明治なるほどファクトリー	芽室町東芽室北1線15-2 TEL:61-3710 FAX:61-3706	
農業と食品産業の発展のため、基礎から応用まで幅広い分野で研究開発を行う機関	農業試験場	芽室町新生南9-4 TEL：62-2721(代表) FAX：61-2127	
美術鑑賞	画家の美術館	芽室町中伏古5線 3 号 Tel/FAX 65-2306	

【こと】

内 容	団体等	問い合わせ先	備 考
氷灯夜	芽室町観光物産協会	66-6522	芽室公園に、約2,500個のアイスクャンドルが灯され、冬の寒さが作り出す、美しい氷で作られた世界
議会傍聴	芽室町議会	62-9731	
イリス・フェスタ・インめむろ	芽室町観光物産協会	66-6522	芽室公園に隣接する約2.1haの広大な土地に440種、約1万株もの花菖蒲が清々しく咲き誇り、芽室町の初夏を鮮やかに彩ります。

令和2年度担当者

・教育研究所	所長	(芽室南小学校校長)	吉 本 徹
・教育研究所	副所長	(芽室西小学校教頭)	菅 原 晴 彦
・教育研究所	所員	(芽室中学校教諭)	松 本 健 二
・教育研究所	所員	(上美生中学校教諭)	大 原 卓 也
・教育研究所	所員	(芽室西中学校教諭)	小 林 京 子
・教育研究所	協力員	(芽室小学校教諭)	西 川 周 作
・教育研究所	協力員	(上美生小学校教諭)	中 山 隆
・教育研究所	協力員	(芽室西小学校教諭)	川 上 浩 樹
・教育研究所	協力員	(芽室南小学校教諭)	長 尾 和 彦

令和3年度担当者

・教育研究所	所長	(芽室西小学校校長)	阿 部 立
・教育研究所	副所長	(芽室南小学校教頭)	日根野 郁 代
・教育研究所	所員	(芽室中学校教諭)	川 人 美波子
・教育研究所	所員	(上美生中学校教諭)	卯 月 しおり
・教育研究所	所員	(芽室西中学校教諭)	小 林 京 子
・教育研究所	協力員	(芽室小学校教諭)	橋 本 貴 之
・教育研究所	協力員	(上美生小学校教諭)	霜 野 美 江
・教育研究所	協力員	(芽室西小学校教諭)	浪 岡 成喜子
・教育研究所	協力員	(芽室南小学校教諭)	山 田 洋

めむろ未来学 2／3年次経過報告

令和4年1月31日発行

編集者	芽室町教育研究所
発行者	芽室町教育委員会
教育長	程 野 仁